

奈良縣ニ於ケル實業學校生徒歩合ノ多數ナルハ、主トシテ、乙種農業學校及ビ徒弟學校數ノ多キヲ占ムルニ因リ、京都府ハ市立商業學校ノ存在スルガ爲メ、靜岡縣ハ、農業學校商業學校ノ盛大ナルガ爲メニ、實業學校生徒歩合ノ上位ヲ占ムルナリ。

實業補修學校生徒ノ最モ多數ナルハ、長崎縣ノ約二萬一千九百人ニシテ、山形縣ノ一萬三千五百餘人、福島縣ノ九千五百餘人、岐阜神奈川二縣ノ八千人以上之ニ次ギ、其ノ他、五千人以上ナルハ、石川山梨奈良岡山ノ四縣トス。其ノ最モ少キハ、沖繩縣ノ八十餘人、富山縣ノ二百餘人ニシテ、栃木、德島、山口、大分、高知、秋田ノ六縣ハ、千人ニ滿タズ。

更ニ學校ノ種類ニ從ヒ、各地方ニ於ケル公私立實業學校ノ狀況ヲ比較スレバ、甲種農業學校ハ、各府縣ニ一校乃至三校設立セラレ、其ノ生徒數ハ、群馬(一千七百七十九人)ヲ最多トシ、山形五百二十八人之ニ次ギ、其ノ他、靜岡、東京、新潟、長野、宮城、福井、鳥取、岡山、大分、鹿兒島、三百乃至四百人ノ

諸府縣ニ多シ。乙種農業學校ノ生徒數ハ、靜岡(六百四十四人)、長野(五百七十七人)、福岡(五百二十二)ノ三縣最モ多ク、宮城、奈良ノ二縣之ニ次グ。水産學校ハ、茨城、靜岡、福井、新潟、宮城、岩手、青森、鳥取、大分、宮崎、沖繩十一縣及ビ、北海道ニ存在スルノミ。工業學校ノ生徒數ハ、東京府ノ一千餘人最モ多ク、福岡縣ノ五百八十人、京都府ノ二百五十人、新潟、山形、佐賀三縣ノ各約二百人之ニ次グ。甲種商業學校ハ、東京府ノ二千五百餘人ヲ以テ生徒數ノ最多ナルモノトシ、大阪府ノ千二百人、愛知縣ノ千三百人、京都府ノ七百餘人、高知縣ノ五百七十人、福岡縣ノ五百五十人、順次之ニ次ギ、其ノ他五百人以上ノ府縣ナシ。乙種商業學校ハ、岡山縣ノ五百六十人、京都府ノ五百四十人、靜岡縣ノ三百五十人ヲ以テ生徒數ノ最多ナルモノトシ、其ノ他百人以上ナルハ、栃木、愛媛、佐賀ノ三縣トス。商船學校ハ、三重、富山、廣島、山口、香川、愛媛、佐賀ノ諸縣及ビ、北海道ニ各公立一校ヲ有スルノミ。徒弟學校ノ最モ盛ナルハ、鹿兒島縣ニシテ、生徒數約一千

學習院ノ目的

人アリ。之ニ次グハ、奈良縣ノ四百三十人トス。其ノ他實業補習學校ニ付テハ、事煩ニ涉ルヲ以テ省ク。

以テ地方ニ於ケル實業教育ノ情勢ヲ推知スルニ足ラン。

前掲各學校ノ外ニ、實業教員養成所アリテ、實業學校ノ教員ヲ養成ス。東京高等工業學校附設工業教員養成所、東京帝國大學農科大學附屬農業教員養成所、東京高等商業學校附設商業教員養成所是ナリ。其ノ生徒數ハ、明治四十年年度ニ於テ、前者ニハ、百十二人、次者ニハ、三十人、後者ニハ、三十一人アリ。

第四節 學習院

學習院ハ、兩陛下ノ優旨ニ基キ、華族ノ子女ニ普通ノ教育ヲ施シ、華族タルノ德性ヲ涵養スルヲ以テ目的トス。

學習院ニ男子學生ノ爲メニ、初等學科、中等學科ヲ置キ、其ノ修業年限

學齡
就學義務

ハ、各六年トス。中等學科ヲ卒業シタル學生ノ爲メニ、補習科ヲ置キ、修業年限ヲ二年トス(舊學則ニ基ク、高等學科ハ、當分ノ中之ヲ存ス、修業年限三年)。又、女子學生ノ爲メニ、女學部ヲ設ケテ、小學科、中學科ヲ置キ、修業年限、前者ハ六年、後者ハ五年トス。中學科ヲ卒業シタル學生ノ爲メニ、修業年限三年ノ專修科ヲ置ク。女學部ニ幼稚園アリ。

學習院ノ初等學科及ビ小學科ハ、尋常小學校ニ該當シ、中等學科及ビ中學科ハ、中學校及ビ高等女學校ニ該當ス。

華族ノ子弟滿六歳ニ達シタル翌日ヨリ、滿二十歳ニ至ル十四箇年ヲ學齡トス。

學齡者ハ、學習院ニ入りテ、初等學科、中等學科ヲ履習スルコトヲ要シ、華族ノ戶主、又ハ、之ニ對シ親權ヲ行フ者、若ハ其ノ後見人ハ、學齡者ヲシテ、就學セシムルノ義務ヲ負フ。止ムヲ得ザル事情ノ爲メ、學習院ニ入學シ難キ者ハ、官公立小學校、若クハ、之ニ代用スル小學校、及ビ官公立中

學校若クハ、文部大臣ガ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認定シタル中學校ニ於テ、其ノ課程ヲ修了スルコトヲ要ス。學齡中ト雖モ、中等學科ヲ卒業シタル者ハ、此ノ義務ヲ解除ス。

國家ハ、既ニ一般國民ノ兒童ニ對シテ、尋常小學校課程ノ履修ヲ強制ス。華族ノ子弟ニ對シテモ、亦就學ノ義務ヲ負ハシムル所以ニシテ、前者ガ六ヶ年ノ小學教程ナルニ比シ、後者ハ、更ニ中等學科ノ六ヶ年教程ヲ以テスルモノ、華族ハ、國民ノ上位ニ位シ、國民ノ儀表タリ、皇室ノ藩屏タル地位ニ鑑ミ、當ニ然ルベキ所トス。

但シ、女子ノ就學ニ關シテハ、未ダ何等ノ強制規定ヲ見ズ。

明治四十年年度學生ノ數、男學生五百三十一人、女學生六百十八人、合計一千一百四十九人アリ。

第五節 圖書館

圖書館ガ、國民一般ノ智識ヲ增進スルニ於テ、偉大ナル効アルハ、言ヲ須タザル所ニシテ、政府ハ、近年頗ル公私立圖書館設置ノ獎勵ニ力メタリ。

明治三十九年度ニ於ケル圖書館ノ數ハ、官立一、公立三十五、私立九十一、合計百二十七館ニシテ、其ノ藏書ノ數ハ、官立二十五萬二千四百三十六冊、公立四十四萬九千三百二十一冊、私立七十四萬七千八百四十一冊、合計百十九萬七千六百六十二冊トス。藏書數一館平均ハ、公私立ハ、固ヨリ、遠ク官立ニ及バズ。而シテ、公立ハ一館平均一萬二千八百三十八冊、私立ハ八千二百十八冊ナリ。

官立圖書館ハ、東京上野公園内ニ在ル帝國圖書館ナリ。東京在住者ノ普ク知ル所ニシテ、又常ニ利用スル施設ナリ。此ノ他、官廳及ビ官立學校ニ附屬圖書館アレドモ、公衆ノ縦覽ニ供セズ。

公私立圖書館ハ、近年各地方ニ勃興シ、明治四十一年度末現在、二百十

四館ニシテ、山口縣ノ三十二館ヲ最多トシ、福島縣ノ十二館、新潟滋賀縣ノ十一館、千葉縣、秋田縣ノ九館、之ニ次ギ、奈良、三重、福井、廣島、德島、兵庫ノ六縣ニ七館、石川、島根ノ二縣ニ各六館、東京、愛知、長野、和歌山ノ四縣ニ各五館アリ。一館ノ設モナキハ、神奈川、岐阜、長崎、佐賀ノ四縣トス。

公私立圖書館ノ主要ナルモノハ、私立北海道教育會附屬圖書館圖書六千九百冊、經費二萬三千圓、私立帝國教育會圖書館圖書三萬二千冊、私立大橋圖書館圖書五萬七千冊、經費八千圓、京都府立京都府圖書館圖書四萬三千冊、經費二萬一千圓、大阪府立大阪圖書館圖書五萬四千冊、經費二萬一千圓、宮城縣立宮城圖書館圖書四萬九千冊、經費二千圓、秋田縣立秋田圖書館圖書四萬二千冊、經費三千八百圓、私立松江圖書館圖書三萬三千冊、經費千圓、山口縣立山口圖書館圖書二萬冊、經費六千圓、德島縣立德島中學校附屬圖書館圖書六萬四千冊、私立高知圖書館圖書三萬一千冊、私立福岡圖書館圖書五萬三千冊等トス。(明治三十九年度調査)。

第六節 臺灣ニ於ケル教育

臺灣ニハ、多數ノ漢族住居シ、蕃族モ亦所々ニ生息シ、内地人ノ子弟ト同一ノ教育ヲ施ス能ハザルヲ以テ、其ノ教育制度ハ、帝國版圖内ニ於テ、一大異例ヲ爲セリ。

臺灣ニハ、初等教育機關トシテ、小學校、公學校、書房、義塾アリ。其ノ上ニ國語學校アリテ、内部ヲ師範部、國語部、實業部ニ分チ、又附屬學校ヲ加設シ、以テ中等教育及ビ專門教育ヲ施ス。此ノ外ニ、中學校アリ、之ニ高等女學校ヲ附設シ、又別ニ醫學校アリ。此ノ他ニハ、少數ノ私立學校アルノミニシテ、高等ノ教育ハ、臺灣ニ於テハ施サズ。

前掲各學校ノ中、公學校ハ、街庄又ハ、數街庄ノ公立ニ係リ、書房、義塾ハ、士人ノ私立スル所、其ノ他ハ、小學校ヲ始メ、總テ官立トス。是等各學校ノ中、内地人ニ對スル教育機關ハ、小學校ニ於テ、初等教育

臺灣教育制度概要

第百九表

ヲ受ケシメ、進デ、男子ハ、中學校ニ入り、女子ハ、同附設高等女學校ニ入ル。而シテ、其ノ師範教育ヲ受ケントスル者ハ、國語學校師範部ニ入學ス。内地人ノ臺灣ニ於ケル教育ハ、此ニ止リ、進デ、高等教育、專門教育ヲ受ケントスルトキハ、内地ニ歸還スルコトヲ要ス。蓋シ、臺灣在住者ノ爲メニ、其ノ幼者ヲ教育スルニ必要ナル程度ニ止メタルナリ。

臺灣土人ハ、公學校又ハ、書房義塾ニ於テ、初等教育ヲ受ケ、國語學校國語部ニ入りテ、中等教育ヲ授ケラレ、其ノ師範部乙科ニ入ラバ、師範教育ヲ受ケ、實業教育ヲ受ケントスル者ハ、其ノ實業部ニ入學シ、醫士ト爲ラントスル者ハ、醫學校ニ於テ教育セラル。又、附屬學校ニ入ルコトヲモ許サル。土人ノ爲メニ、各種ノ教育ヲ受クルノ便ヲ與ヘタルナリ。

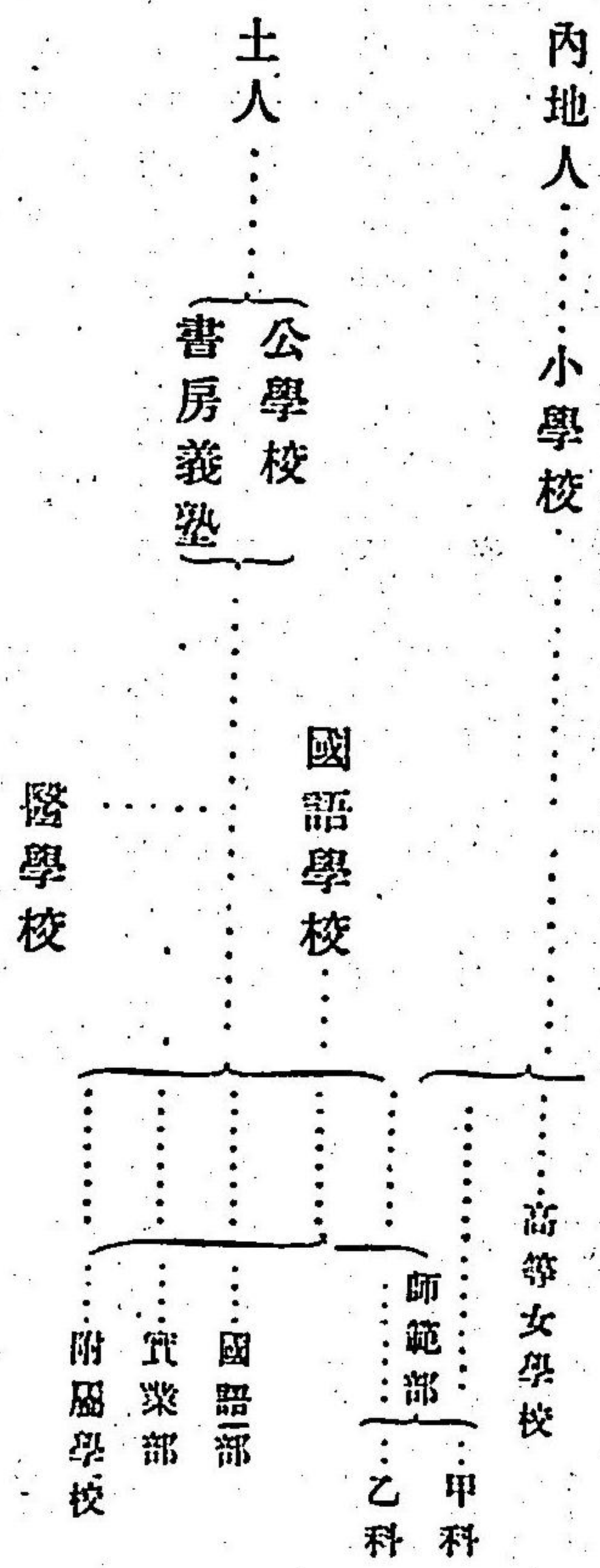
内地人ト土人トニ分ケテ、臺灣ニ於ケル教育系統ヲ示セバ、左ノ如シ。

初等教育

中等教育及簡單ナル專門教育

中學校

臺灣ニ於ケル教育系統



以下各學校ニ付キ、其ノ性質組織狀況等ヲ説明スベシ。

● 小學校ハ、内地人ノ學齡兒童ヲ教育スル官立學校ニシテ、組織性質等、略内地ニ同ジク、其ノ異ル主要ナル點ハ、義務教育ニアラザルコト、總テ授業料ヲ徴收スルコト等ナリ。

小學校ノ數ハ、明治三十九年末現在十四校アリ、臺北ニ三、基隆宜蘭桃園新竹苗栗臺中彰化嘉義臺南鳳山澎湖各廳下ニ各一アリ。此ノ外、公學校内ニ附設セル尋常小學校科派遣教授所十四所アリ。南投臺南ニ各

公學校

二、深坑、桃園、苗栗、斗六、鹽水、港蕃薯寮、鳳山、阿緜、恒春、臺東ニ各一トス。
 小學生徒ノ數ハ、男一千六百八十四人、女一千六百一人、計三千二百八十五人ニシテ、其ノ五分ノ二、即チ、一千三百八十三人ハ、臺北廳下ノ三校ニ在學ス。臺南、基隆ノ兩小學校之ニ次ギ、其ノ他ハ、遠ク及バズ。
 公學校ハ、土人ノ小學校ト稱スベキモノニシテ、初等教育ヲ與フル所タリ。街庄ノ設立ニ係ルヲ原則トシ、臺灣總督ノ命ニ依リ、蕃人ノ子弟ヲ就學セシムベキ公學校ヲ設置シタルトキハ、其ノ費用ハ、地方税ノ負擔トス。
 公學校生徒ノ年齡ハ、滿七歳以上十六歳以下トシ、修業年限ヲ六年トス。但シ、土地ノ情况ニヨリ、四年又ハ八年ト爲スコトヲ得。固ヨリ、未ダ義務教育ノ制ヲ行ハズ。
 公學校ニ補習科ヲ設クルヲ得ルコト、小學校ノ如シ。
 明治三十九年末ニ於ケル、公學校ノ數ハ、百八十校アリ。其ノ十六ハ

蕃人公學校

書房義塾

臺中、十五ハ臺北、十四ハ桃園、十三ハ彰化、十一ハ新竹、阿緜ノ諸廳下ニ在リテ、其ノ他十校ニ滿ツルモノナク、最モ少キヲ蕃薯寮、恒春廳下ノ各四校トス。其ノ生徒ノ總數ハ、三萬一千八百餘人、男二萬七千八百人、女三千九百餘人ニシテ、其ノ九分ノ一弱ハ、臺北廳下、十一分ノ一強ハ、彰化廳下ニ在リ。
 蕃人公學校ハ、臺東廳下ニ十二校、恒春廳下ニ三校、合計十五校アリ、生徒ハ、男九百十二人、女五十四人、合計九百六十六人トス。
 書房義塾トハ、我が舊時ノ私塾、寺子屋ニ同ジク、村夫子ガ、比隣ノ兒童ニ簡易ナル教育ヲ與フルモノナリ。其ノ教授方法ノ如キ、固ヨリ完全ナラズト雖モ、一時ニ之ヲ廢絶セシムルハ、舊慣ヲ害スルノミナラズ、却テ教育施設ノ絶滅スルナキヲ保セズ。乃チ、臺灣總督府ハ、舊ニ從ヒテ、暫ク之ガ存立ヲ許シ、廳長ノ監督ノ下ニ立タシメ、漸次ニ國語、算術ノ科目ヲ加設シ、公學校ノ教科ニ準ゼシムルノ方針ヲ取リタリ。

書房ノ數ハ、明治三十九年末現在九百十四アリ。臺東廳下ニハ、一ノ書房モナク、苗栗廳下最モ多クシテ、百三十ヲ算シ、新竹廳下ノ百二十二之ニ次ギ、鹽水港(九十六)、臺北(八十七)、桃園(七十三)順次之ニ次グ。其ノ他七十ニ滿ツルモノナク、最モ少キヲ、深坑廳下ノ一、恒春廳下ノ二トス。生徒ノ數ハ、男一萬九千五百餘人、女三百餘人、合計一萬九千九百餘人ニシテ、臺灣土人ノ初等教育ハ、實ニ書房ニ待ツ所大ナリ。其ノ生徒數ノ最モ多キハ、桃園新竹二廳下ノ各二千七百人トシ、苗栗廳下ニ二千八百十人、臺北廳下ニ二千二百人アリ。

中學校
高等女學校

中學校ハ、内地人ニ限り、入學ヲ許シ、高等普通教育ヲ施ス所トス。之ニ高等女學校ヲ附設シ、内地人ノ女子ニ限り、入學ヲ許ス。

中學校ハ、第一部、第二部ニ分チ、其ノ修業年限、第一部ハ、六年トシ、第二部ハ、五年トス。第一部ニ高等科ヲ置キ、修業年限二年ヲ以テ、卒業後實務ニ就カントスル者ニ須要ノ教育ヲ施シ、又、第二部ニハ、修業年限一年ノ補習科ヲ置ク。第一部ノ入學資格ハ、年齡

國語學校

滿十一歳以上ニシテ、尋常小學校第五學年ノ課程ヲ卒リタル者又ハ、之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トシ、第二部ノ入學資格ハ、年齡滿十二歳以上ニシテ、尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ、之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トス。而シテ、高等科ニ入學スルハ、第一部卒業者又ハ、之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者補習科ニ入學スルハ、第二部卒業者又ハ、中學校令ニヨル中學校ノ卒業者トス。

高等女學校ハ、修業年限四年トシ、其ノ入學資格ハ、中學校第二部ニ於ケルト同シ。又、修業年限一年ノ補習科ヲ置ク其ノ入學資格ハ、中學校補習科ノ資格ニ準ズ。

國語學校ハ、臺北ニ一ヶ所アルノミ。其ノ内部ヲ師範部、國語部、實業部ニ分チ、附屬學校ヲ加設セルコトハ、前ニ言ヘルガ如シ。

師範部ハ、公學校ノ教職ニ從事スル者ヲ養成スル所ニシテ、之ヲ甲科、乙科ニ分チ、甲科ハ、内地人ノ滿十九歳以上二十五歳未滿ノ者ニシテ、中學校卒業以上ノ學力アル者ヲ入學セシメ、修業年限一年トシ、乙科ハ、臺灣人ノ滿十四歳以上二十三歳未滿ノ者ニシテ、修業年限六箇年ノ公學校卒業以上ノ學力ヲ有スルモノヲ入學セシメ、修業年限四年トス。

國語部ハ、臺灣人ニ中等ノ教育ヲ與フルモノニシテ、修業年限四年トシ、滿十四歳以上二十二歳未滿ニシテ、公學校卒業以上ノ學力アル者ヲ入學セシム。

實業部モ亦臺灣人ヲ教育スル所ニシテ、農業科電信科鐵道科ニ分テ、修業年限ヲ農業科ハ二年、其ノ他ハ一年トシ、入學資格ハ、農業科ハ滿十六歲以上二十五歲未滿ニシテ、國語部第二學年修業以上ノ學力アル者トシ、其ノ他ハ滿十七歲以上二十六歲未滿ニシテ、國語部第三學年卒業者、又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トス。

附屬學校ニハ二校アリ。第一ハ内地ノ附屬小學校ノ性質ヲ有シ、公學校ノ模範ト爲リ、且師範部生徒ノ授業練習ニ供シ、第二ハ土人ノ女子教員ヲ養成スルヲ主トシ、兼テ技藝教育ヲ施ス所タリ。共ニ臺北ニ在リ。

國語學校生徒中、師範部ハ給費トシ、國語部實業部ハ、自費給費兩様トス。

國語學校生徒ノ數ハ、明治三十九年末ニ於テ、本校總員五百十四人ニシテ、其ノ内、師範部甲科ハ、五十五人、乙科ハ、百六十二人、中學部(今ハ獨立シテナレ)ハ、二百十三人、國語部ハ、七十六人、實業部農業科ハ、八人ナリ。

附屬學校生徒ノ總員ハ、六百三十一人、男三百二十四人、女三百七人ニシテ、其ノ中、第一附屬學校ハ、臺灣人男三百二十四人、女百三十四人、第二附屬學校ハ、臺灣人女二十四人、第三附屬學校(今ハ獨立シテ高等女學校トナレリ)ハ、内地人女百四十九人ナリ。

醫學校

醫學校ハ、臺灣人ニ醫學ヲ授ケ、醫師ヲ養成スル所ナリ。臺北ニ在リ。修業年限ヲ四年トシ、別ニ豫科一年ヲ置ク。一定ノ入學資格ナシ。明治三十九年末現在生徒數本科百六人、豫科三十九人アリ。

前ニ陳ベタルモノノ外、私立學校臺北ニ七校、臺南ニ五校、臺中ニ一校アリ。生徒ノ總數、五百八十八人、内地人二百八十一人、本島人二百二十七人トス。

圖書館ハ、臺北ニ私立一館アリ、圖書一萬四千冊ヲ藏ス。

第六章 敬神

敬神ト宗教

本章ニ於テハ、神宮ハ勿論、御陵墓各神社ニ付テ、説明セントス。從來一般ノ著書ハ、是等ノ事項ヲ概ネ宗教ノ中ニ於テ陳ベタリト雖モ、我ガ國體ニ於テハ、敬神ト宗教トハ、全然別異ノ意義ヲ有スルガ故ニ、本書ニ於テハ、各別ニ之ヲ説ク。

宗教ハ未來ヲ説キ、神ノ靈力ヲ信仰シ、之ニ依頼シテ、安心立命ヲ得ルノ道ニシテ、我ガ國民ガ、神宮神社御陵墓ヲ拜スルハ、我ガ皇祖皇宗、及ビ國家ニ殊勳ヲ建テタル故人ヲ崇敬スルノ意ニ出デ、之ニ信賴シテ、未來ノ冥福ヲ得ントスルモノニアラズ。故ニ、其ノ佛教徒タルト、基督教信者タルト、其ノ他如何ナル宗教ヲ信ズルモノトヲ問ハズ、我ガ國民ガ、神宮神社御陵墓ニ敬意ヲ表スルハ、更ニ宗教上ノ信念ト相矛盾スルコトナシ。是レ我ガ國體ノ眞髓ナリ。

神道ハ、神社ト同一ニアラズ。神道ハ、宗教タリ。神道ノ教義ニ於テ、靈力ニ依頼セル神ガ、神社ニ奉祀セル所ト同一ナルノ故ヲ以テ、神社ヲ宗教上ノ禮拜場ト混同スベカラズ。神道ガ、某神ヲ以テ、其ノ主神トスルハ、神道ノ自由ニ選擇シタル所ニシテ、爲メニ、神社ガ、宗教ノ外ニ立テ、國民一般ノ崇敬スベキ所タルコトヲ失ハズ。故ニ、神社ハ、國家自カラ之ヲ維持シ、又ハ、地方團體ヲシテ、之ヲ維持セシムルモ、神道ハ、他ノ宗教

(一) 神宮

ト同ジク、國家ノ監督ノ下ニ立チテ、何等特異セララルコトナシ。我ガ國體ニ於テ、敬神ハ、更ニ宗教ト相關係セザルガ故ニ、國家ガ神宮神社ヲ維持スルノ事實ハ、憲法ニ於テ、信教ノ自由ヲ保障セル主義ト、何等相悖戻スルコトナシ。

(一) 神宮。單ニ神宮ト稱スルハ、伊勢大廟即チ太神宮ノ謂ニシテ、鹿島香取等ノ神宮ハ、普通ノ神社ナリ。

神宮ハ、三重縣伊勢國宇治山田市ニ在リ。内宮ト、外宮トアリ。内宮ハ、皇太神宮ニシテ、天照皇太神ヲ奉祀シ、天手力雄命、高幡豐秋津姬命ヲ配ス。崇神、天皇ノ朝、大和ノ笠縫ノ里ニ祀リ、垂仁天皇ノ二十五年、五十鈴川上ニ移シ祀ラレタルモノ、即チ是ニシテ、御神體ハ、八咫ノ神鏡ナリ。外宮ハ、豐受太神宮ニシテ、豐受太神ヲ祭り、瓊々杵尊、天兒屋根命、天太玉命ヲ配祀ス。雄略天皇二十二年ノ創建ニ係ル。

中世佛教大ニ行ハレ、平城、嵯峨ノ朝、最澄、空海等ノ名僧輩出シ、盛ニ本

地垂跡ノ説ヲ唱道スルニ及ビ、神佛茲ニ混淆シ、佛寺ニ神體ヲ安置シ、神社ニ僧侶奉祀シ、以テ明治維新ニ至リタルモ、伊勢大廟ノミハ、全ク佛ヲ斥ケ、物料ノ稱呼ニモ佛縁アルモノヲ嫌忌セリ。神宮ノ尊嚴、古來渝ルコトナシ。

神宮ニ奉仕スルモノヲ神官ト稱ス、七十三人アリ。

神宮司應、神部署其ノ他、神宮ニ關スル各官署ニ付テハ、第一卷第五篇第一章中、内務省ノ部ニ之ヲ陳ベタリ。

(二) 神社

(二) 神社ニハ、天皇皇族ノ奉祀セラルルモノアリ、神代ノ諸神ヲ祭レルアリ、臣下ノ國家ニ殊功アルモノヲ祀レルアリ、一樣ナラズ。

神社ノ階級ヲ社格ト謂フ。大別シテ、官幣社、國幣社、府縣社、郷社、村社、無格社トシ、官幣社及ビ國幣社ニハ、大中小ノ細別アリ。

別ニ別格官幣社ト稱スルモノアリ。

社格ハ、崇敬者ノ範圍ノ廣狹ニ鑑ミ、政府ノ定ムル所ニシテ、必ズシモ

祭神ノ位地ノ高下ニ從ハズ。故ニ、府縣社ハ、府縣全體ノ崇敬スル神社ニシテ、郷村社亦之ニ倣フ。是ヲ以テ、同一祭神ニシテ、一ハ、官幣社タリ、一ハ、村社タルモノ尠カラズ。八幡社ノ如キハ、此ノ適例ナリ。

社格ハ、一社ニ一ナルヲ普通トスト雖モ、時ニ官國幣社、府縣社ニテ郷社ヲ兼ヌルモノアリ。東京ノ日吉神社ハ、府社ニシテ郷社ヲ兼ネ、京都ノ八阪神社ハ、官幣中社ニシテ、又郷社タルガ如シ。

官國幣社ノ別モ、亦此ノ理ニ同ジク、國家全體ノ崇敬スルヲ官幣社トシ、神祇官幣帛ヲ奉ジ、一國ノ崇敬スル神社ヲ國幣社トシ、國司幣帛ヲ奉ズルコト古ノ制ナリシガ、國司ノ權威衰へ、從テ其ノ制ノ自然ニ廢止セラルルニ及ビ、奉幣ノ式典モ行ハレザリシヲ、明治維新ノ後之ガ舊制ニ復シタリシガ、幾ナラズシテ、神祇官ノ廢止ト共ニ、再ビ兩者ノ別ナキニ至リ、現今ハ、官幣社、國幣社共ニ、地方長官奉幣使トシテ、政府ノ供スル幣帛ヲ奉ズ、別ニ近時ニ至リ、古來國家ニ偉勳ヲ建テタルモノヲ祭神ト

セル別格官幣社ナルモノ設ケラレタリ。
 諸國ニ一ノ宮・二ノ宮等アリ、人ノ知ル所ナリ。此ノ稱呼ハ舊制ノ弛廢ニ從テ生ジタルモノナリ。抑モ延喜式ニ載スルモノ、即チ式内神社ノ總數ハ、三千百三十二ニシテ、其ノ中、大社四百九十二、小社二千六百四十アリ。皆官幣又ハ國幣ヲ享ケタリシモ、皇威陵夷ノ後、其ノ制行ハレズ。其ノ中、特別ノ由緒アルモノヲ擇ビテ、諸國ニ一ノ宮・二ノ宮・三ノ宮・四ノ宮・五ノ宮等起リタルナリ。

現今官幣社ノ數ハ大社四十四、中社二十六、小社三、合計七十三社、別格官幣社ハ二十三社、國幣社ハ中社四十九、小社二十六、合計七十五社ニシテ、國幣社ニハ大社ナシ。即チ官國幣社ノ總數ハ、百七十一社ニシテ、之ヲ延喜ノ當時ニ比スレバ、凡二十分ノ一ヲ算フルノミ。

祭神ニ付テ概言スレバ、官國幣社ニ在リテハ、神代諸神及ビ天皇又ハ皇族トシ、人皇以後ノ人臣ニシテ、官國幣社ニ祀ラルルモノハ、官幣中社

第一百表

ニ於テ菅原道眞、國幣中社ニ於テ武内宿禰アルノミ。別格官幣社ノ祭神ハ、和氣清麿ヲ始メトシ、都テ人臣ナリ。又、官國幣社ノ中ニハ、神寶ヲ以テ神靈トスルモノ、熱田神宮石上神宮出石神社等アリ。

官國幣社表		合計四十四社	
神社名	祭神	神	所在地
男山八幡宮	譽田別尊神功皇后比賣神	神	山城國綴喜郡八幡町八幡莊
松尾神社	大山咋尊中津島姬命	神	葛野郡松尾村上山田
平野神社	今木神久度神古開神比賣神	神	衣笠村小北山
稻荷神社	倉稻魂神猿田彦神大宮女神	神	紀伊郡深草村稻荷
賀茂別雷神社	別雷神	神	愛宕郡上賀茂村上賀茂
賀茂御祖神社	玉依姬命賀茂健角身命	神	下鴨村下鴨
平安神宮	桓武天皇	神	京都市上京區岡崎町
大神神社	倭大物主御魂玉神	神	大和國磯城郡三輪町三輪

大和神社	倭大國魂神八千戈神御年神	同	山邊郡朝和村新泉
石上神社	布都御靈劍	同	丹波市町布留
春日神社	武甕槌神・齋主神・天兒屋根命・比賣神	同	奈良市奈良町春日野
廣瀨神社	若宇迦賣神	同	北葛城郡河合村河合
龍田神社	天御柱神・國御柱神	同	生駒郡三郷村立野
丹生川上神社	高靈神・國靈神	同	吉野郡(上社)川上村(下社)
梶原神社	神武天皇五十鈴媛命	同	高市郡白樺村
吉野宮	後醍醐天皇	同	吉野郡吉野村吉野山
枚岡神社	天兒屋根命・健甕神・齋主命・比賣神	同	河內國中河內郡枚岡村出雲井
大鳥神社	大鳥連祖神	同	和泉國泉北郡鳳村大鳥
住吉神社	表筒男神・中筒男神・底筒男神・神功皇后	同	攝津國東成郡住吉村
生國魂神社	生島神足島神	同	大阪市東區生玉町
廣田神社	檜賢木殿之御魂・天賦向津媛命	同	尾張國名古屋市南區熱田神宮阪町
熱田神社	草薙神劍	同	駿河國富士郡大宮町大宮
淺間神社	木花咲耶姬命	同	伊豆國田方郡三島町三島
三島神社	玉鏡入彦殿之事代主命	同	武藏國北足立郡大宮町高鼻
氷川神社	素盞鳴尊・大己貴命・稻田媛命	同	安房國安房郡神戶村大神宮
安房神社	天太玉命	同	下總國香取郡香取町香取
香取神社	齋主命	同	常陸國鹿島郡鹿島町宮中
鹿島神社	武甕槌神		

日吉神社	大山咋神	近江國滋賀郡阪本村阪本
建部神社	日本武尊	同 栗太郡瀬田村神領
氣比神社	神功皇后外六神	越前國敦賀郡敦賀町噺
出雲大社	大國主神	出雲國簸川郡杵築町杵築東
日前神社	日前大神	紀伊國海草郡宮村秋月
國懸神社	國懸大神	同
伊非諾神社	伊非諾尊	淡路國津名郡多賀村多賀
香椎宮	神功皇后	筑前國糟屋郡香椎村香椎
宗像神社	名紀理姬命・市杵島姬命・多紀都姬命	同 宗像郡田島村下北方
宇佐神社	譽田別尊・比賣神・大帶姬命	豐前國宇佐郡宇佐町南宇佐
宮崎宮	神武天皇	日向國宮崎郡大宮村
鶴戶神社	鷗鷺草葺不合尊	同 南那珂郡鶴戶村宮浦
鹿兒島神社	彦火々出見尊	大隅國始其郡四國分村內
霧島神社	彦火瓊杵尊	同 東襲山村田口
札幌神社	大國魂神・大己貴神・少彥名神	石狩國札幌郡四山村
臺灣神社	大國魂神・大己貴神・少彥名神・能久親王	臺灣臺北廳芝蘭一堡劍潭山
八阪神社	素盞鳴尊・稻田姬命・八柱御子神	山城國京都市下京區四條通清井町
白峰宮	崇德天皇・淳仁天皇	同 上京區飛鳥井町

官幣中社

合計二十六社

梅宮神社	酒解神大若子神小若子神酒解子	同	葛野郡梅津村西梅津
貴船神社	閻羅神	同	愛宕郡鞍馬村貴船
大原野神社	健御雷神寒主神天兒屋根神比賣	同	乙訓郡大原野村大原野
吉田神社	同	同	京都市上京區吉田町
北野神社	菅原道真	同	上京區御前通馬喰町
水無瀬宮	後鳥羽天皇土御門天皇順德天皇	同	攝津國三島郡島木村廣瀬
生田神社	稚日女尊	同	同 神戸市下山手通一丁目
長田神社	事代主神	同	同 長田村
井伊谷宮	宗其親王	同	遠江國引佐郡井伊谷村
鎌倉宮	護其親王	同	相模國鎌倉郡鎌倉町二階堂
日枝神社	大山咋神	同	武藏國東京市麹町區永田町二丁目
金鑽神社	天照大神素戔嗚尊	同	同 兒玉郡青柳村二ノ宮
多賀神社	伊弉諾尊伊弉册尊	同	近江國大上郡多賀村多賀
諏訪神社	健御名方宮命八坂刀寶命	同	信濃國諏訪郡(上社)中洲村(下社)
月山神社	月讀尊	同	羽前國東田川郡立谷澤村及泉村
金山宮	尊其親王恒其親王	同	越前國敦賀郡敦賀町泉
海神社	底中上津綿津見神	同	播磨國明石郡垂水村西垂水
赤間宮	安德天皇	同	長門國下關市阿彌陀寺町
蘆山神社	五瀬命	同	紀伊國海草郡三田村和田
笠崎宮	應神天皇	同	筑前國糟屋郡箱崎町箱崎

太宰府神社	菅原道真	同	筑紫郡太宰府町太宰府
英彦山神社	忍尊命	同	豐前國田川郡彦山村彦山
阿蘇神社	健甕龍命	同	肥後國阿蘇郡宮地町
八代宮	懷其親王	同	同 八代郡八代町
官幣小社 合計三社			
大國魂神社	武藏大國魂神	同	武藏國北多摩郡府中町府中
龜門神社	玉依姬命	同	筑前國筑紫郡太宰府町北谷及御
波上宮	速玉男神伊弉册神事解男神	同	琉球國那霸區若狹町
別格官幣社 合計二十三社			
豐國神社	豐臣秀吉	同	山城國京都市下京區大和路通
建勳神社	織田信長	同	正面茶屋町
護王神社	和氣清隆	同	同 愛宕郡大宮村東紫竹大門
梨木神社	三條實萬	同	同 京都市上京區烏丸通下立
談山神社	藤原鎌足	同	同 櫻井町上京區寺町通石藥
四條畷神社	楠水正行	同	同 師下ル染殿町
淡川神社	楠水正成	同	大和國磯城郡多武峯村多武峯
阿部野神社	北島親房同顯家	同	河內國北河內郡甲可村南野
結城神社	結城宗廣	同	攝津國神戶市兵庫多聞通三丁目
		同	同 東成郡住吉村住吉
		同	伊勢國津市江尻藤方村

東照宮	德川家康	駿河國安倍郡久能村根古屋
靖國神社	維新前段及其以後殉國士	武藏國東京市麴町區富士見町
小御門神社	藤原師賢	下總國香取郡小御門村名古屋
常磐神社	德川光圀同齊昭	常陸國水戸市常磐
東照宮	德川家康	下野國上都賀郡日光町日光
唐澤山神社	藤原秀郷	同 安蘇郡田沼町栃木
靈山神社	北島親房顯家顯信守親	岩代國伊達郡霞山村大石
上杉神社	上杉謙信	羽前國米澤市南堀端町
藤島神社	新田義貞	越前國吉田郡西藤島村牧島
尾山神社	前田利家	加賀國金澤市四町
名和神社	名和長年	伯耆國四伯郡名和村名和
豐榮神社	毛利元就	周防國吉敷郡上宇野令村上宇野
菊池神社	菊池武時	肥後國菊池郡隈府町正觀寺
照國神社	島津齊彬	薩摩國鹿兒島市山下町
政國神社	政國津神	伊賀國阿山郡府中村一ノ宮
淺間神社	木花咲耶姬命	甲斐國東八代郡一櫻村一ノ宮
寒川神社	寒川彦神寒川姬神	相模國高座郡寒川村宮山
越前八幡宮	應神天皇	同 鎌倉郡鎌倉町野ノ下
國幣中社 合計四十九社		

玉前神社	玉前神	上總國長生郡一宮町一宮本郷
大洗磯前神社	大己貴神	常陸國東茨城郡磯濱町
酒列磯前神社	少彦名命	同 那珂郡平磯町
南宮神社	金山彦神	美濃國不破郡宮代村
生島足島神社	生島神足島神	信濃國小縣郡東鹽田村下之郷
貫前神社	經津主神	上野國北甘樂郡一ノ宮町二ノ宮
二荒山神社	二荒山神	下野國上都賀郡日光町日光
都々古別神社	豐城入彦命	同 宇都宮市馬場町
都々古別神社	都々古別神	磐城國東白川郡棚倉町棚倉
伊佐須美神社	味鋸高彦根神	同 近津村八槻
志波彦神社	大彥命武沼河別命	岩代國大沼郡高田町
鹽竈神社	志波彦神	陸前國宮城郡鹽竈町
大物忌神社	鹽竈神	同
若狹彦神社	大物忌神	羽後國飽海郡吹浦村吹浦及藤岡
氣多神社	若狹彦神若狹姬神	若狹國遠敷郡遠敷村龍前及遠敷
射水神社	大己貴神	能登國羽咋郡一宮村一宮寺家
彌彦神社	二上神	越中國高岡市大字木丸
出雲神社	天香山命	越後國四浦原郡彌彦村彌彦
籠神社	大國主命三穗津姬神	丹波國南桑田郡千歲村千歲
	天水分神	丹後國與謝郡府中村大垣

出石神社	八種神寶	但馬國出石郡神美村宮内
宇部神社	武内宿禰	因幡國岩美郡國府村宮下
美保神社	事代主神	出雲國八東郡美保關村美保關
熊野神社	神祖熊野大神御氣野神	同 八東郡熊野村
水若酢神社	水若酢神	隱岐國隱岐郡五箇村宇郡
中山神社	金山彦神	美作國苦田郡一宮村西一宮
安仁神社	安仁神	備前國邑久郡大宮村藤井
吉備津神社	大吉備津彦神	備中國吉備郡真金村
嚴島神社	市杵島姬神	安藝國佐伯郡嚴島町
住吉神社	表・中底筒男三神ノ荒魂	長門國豐浦郡豐東上村楠乃
伊太祁曾神社	大屋彦神	紀伊國海草郡西山東村伊太祁曾
熊野座神社	家都御子神	同 東牟婁郡本宮村
大麻比古神社	大麻比古神	阿波國板野郡板東村板東
忌部神社	天日鷲命	同 德島市富田浦町二軒屋町
田村神社	田村神	讚岐國香川郡一宮村一ノ宮
金刀比羅宮	大物主神崇徳天皇	同 仲多度郡琴平町
大山祇神社	大山祇神	伊豫國越智郡宮浦村宮浦
土佐神社	一言主神	土佐國土佐郡一宮村一宮
高真神社	高真玉垂神	筑後國三井郡御井町
西寒多神社	西寒多神	豐後國大分郡東植田村寒田

巴島神社	多紀理姬命市杵島姬命多岐津姬	肥前國東松浦郡呼子村加部島
新田神社	瓊々杵尊	薩摩國薩摩郡東水引村宮内
住吉神社	上中底筒男三神	壹岐國壹岐郡那賀村住吉
海神社	豐玉姬神	對馬國上縣郡峯村木坂
函館八幡宮	應神天皇	渡島國函館區谷地頭町
眞清田神社	火明神	尾張國中島郡一宮町一宮
砥鹿神社	大己貴神	三河國寶飯郡一宮村一宮
小國神社	小國神	遠江國周智郡一ノ宮村立川
神部神社	大己貴神	駿河國靜岡市宮ヶ崎町
淺間神社	木花咲耶姬	同
大歲御祖神社	大歲御祖神	同
水無神社	水無神	飛騨國大野郡宮村宮
戸隱神社	天手力雄命	信濃國上水内郡戸隱村戸隱
駒形神社	駒形神	陸中國隱澤郡水澤町鹽竈
岩木山神社	宇都志國魂神多都比昆賣命宇賀能賣命	陸奥國中津輕郡岩木村百澤
出羽神社	伊弉波神	羽前國東田川郡手向村
湯殿山神社	大山祇神	同 東村麥俣
古四王神社	武甕槌神大彥命	羽後國南秋田郡寺内村寺内

國幣小社

合計二十六社

白山比咩神社	菅生石部神社	大津神社	大神山神社	日御碕神社	須佐神社	物部神社	伊和神社	沼名前神社	玉祖神社	諏訪神社	都農神社	枚聞神社
菊理媛神伊弉諾尊伊弉册尊	菅生石部神	五十瓊神	大己貴神	素盞鳴尊	素盞鳴尊	可美真手命	大己貴神	綿津見神	玉祖神外一座未詳	健御名方神八坂刀賣神	大己貴神	枚聞神

以上通計百七十一社

加賀國石川郡河内村三宮	同 江沼郡福田村敷地	佐渡國佐波郡羽茂本郷村飯岡	伯耆國四伯郡大高村尾高	出雲國簸川郡日御碕村日御碕	同 飯石郡須佐村宮内	石見國安濃郡川合村川合	播磨國美粟郡神戶村須行名	備後國沼隈郡柄町後地	周防國佐波郡右田村大崎	肥前國長崎市四山郷	日向國兒湯郡都農村川北	薩摩國排宿郡額娃村十町
-------------	------------	---------------	-------------	---------------	------------	-------------	--------------	------------	-------------	-----------	-------------	-------------

官國幣社ノ多數ナルハ、畿内諸國ニシテ、山城ニ十八、大和ニ十、攝津ニ八アリ。之ニ河内ノ二、和泉ノ一ヲ加フレバ、三十九社ニシテ、全國ノ四分ノ一弱ヲ占ム。二千五百年來、帝都ヲ定メラレタル土地トシテ、固ヨ

リ當然ナリ。府縣社ノ數ハ、五百七十九、郷社ハ、三千四百六十五、村社ハ、五萬二千三百九十七、無格社十三萬三千八百二十五ニシテ、之ニ官國幣社ヲ加フルトキハ、全國ノ神社數十九萬四百三十七アリ。伊勢神宮ハ、此ノ外トス。

普通ノ神社ノ外ニ、全國ニ百餘ノ官祭招魂社アリ、山口鹿兒島ノ二縣最モ多シ、皆殉難志士ヲ祀ル。

神社ニ奉仕スルモノヲ普通ニ神官ト稱スルモ、制度上ニ於テハ、神官トハ、神宮ニ奉仕スル官吏ノミノ稱ニシテ、神社ニ仕フルモノハ、神職ト稱ス。其ノ數、明治三十九年末ニ於テ、一萬五千一百餘人アリ。

神社ニハ、各神職アリ。國法ニ於テ、定員ト資格トヲ定メ、非違アラバ、之ヲ懲戒ス。

官國幣社ノ神職ハ、宮司、權宮司、禰宜、主典、宮掌トス。其ノ權宮司ハ、熱田神宮出雲大社ニ限り、宮掌ハ、熱田神宮ニ限ル。

府縣社郷社ニハ、社司社掌ノ神職ヲ置キ、村社以下ニハ、社掌ノミヲ置ク。

(三) 御陵墓

(三) 御陵墓。陵トハ、皇室典範ニ於テ陛下ト稱シ奉ル皇家ノ尊骸ヲ奉

瘞スル所ニシテ、御墓トハ、普通ノ皇族ニ係ルモノナリ。然レドモ、上世

ノ制ハ、必ズシモ然ラザルモノアリ。

我が國ニハ、宗廟ヲ設ケテ、歷代ノ神靈ヲ奉祀スル制ナキヲ以テ、陵墓

ハ、古來漢國ノ宗廟ト同ジク、國民ノ崇敬スル所タリ。故ニ、上代ハ、最モ

重要ナル陵墓ヲ選ビテ、十陵四墓等ト稱シ、荷前ノ奉幣ヲ爲シ、其ノ他ノ

陵墓モ鄭重ニ奉祀セラレタリシガ、皇威漸ク衰フルニ及ビ、奉幣ノ制モ、

自カラ廢セラレタルノミナラズ、陵墓ノ上ニ、或ハ城堡ヲ築キ、或ハ村落

ヲ興シタルアリテ、荒廢ヲ極メ、終ニ其ノ所在ノ明ナラザルニ至レルモ

ノアリ。幕政ノ頃、戸田大和守、其ノ他ノ志士、山陵重修ニ力メ、明治維新

ノ後、政府特ニ意ヲ茲ニ注ギタルヲ以テ、御陵墓ノ尊嚴舊ニ復シタリト

雖モ、長慶天皇ノ山陵ノミハ未ダ其ノ所在ヲ知ラズ、國民ノ深ク憾トスル所タリ。

歷代天皇ノ山陵ハ、北朝六世ヲ合シテ、現ニ百二十三アリ。山城ニ七

十、大和ニ三十、河内ニ十三、和泉ニ三、丹波ニ二、攝津、近江、淡路、讃岐、長門ノ

諸國ニ各一アリ。桓武天皇以前ノ山陵ハ、主トシテ大和ニ在リ。其ノ

後ハ、主トシテ山城ニ在リ。帝都所在地ノ轉移ニ因ル。五畿内以外ニ

山陵ノ存スルハ、孰レモ我が歴史上絶大ノ恨事アリタル御世ノ天皇ニ

シテ、近江弘文天皇、淡路淳仁天皇、讃岐崇徳天皇、長門安徳天皇、丹波光嚴

天皇、後花園天皇ノ山陵是ナリ。此ノ他、後鳥羽土御門順徳諸帝ハ、絶海

ノ地ニ於テ崩御シ給ヒシガ、尊骸ヲ茶毘ニ附シ、御遺骨ヲ奉シ歸リテ、山

城國ニ山陵ヲ築キタリ。

第七章 宗教

世界ニ於ケル宗
教ノ狀況概説

宗教トハ、萬能ノ神靈ノ存在ヲ信ジ、之ニ依頼シテ、未來ノ加護ヲ求ムル信仰ヲ謂フ。

世界中主要ナル宗教ハ、佛教、儒教、婆羅門教、回々教、耶蘇舊教、耶蘇新教、希臘教、猶太教等ニシテ、別ニ我が國ニハ、特有ノ神教アリ。各宗信徒ノ數ハ、大畧佛教、儒教ハ、神教ト合シテ四億四千萬人、婆羅門教ハ二億一千万人、回々教ハ一億九千万人、耶蘇舊教ハ二億七千万人、耶蘇新教一億九千万人、希臘教一億一千万人、猶太教一千万人、其ノ他ノ宗教ハ一億二千万人トス。之ヲ五大洲ニ付テ區別スレバ、神、儒、佛三教及ビ婆羅門教ハ、殆ド亞細亞洲ノミニ行ハレ、回々教徒ノ大多數ハ、亞細亞洲ニ在リテ、一部ハ、歐羅巴、阿非利加洲ニ在リ。耶蘇舊新二教、希臘教ハ、主トシテ歐米二洲ニ行ハレ、猶太教ハ、歐洲ニ行ハル。

幕政時代ニ於テハ、嚴ニ外教ヲ信仰スルヲ禁ジ、佛教ヲ以テ事實上我が國教ト爲シシガ、明治維新ニ至リテ、此ノ禁ヲ解キ、同二十二年、帝國憲

信教ノ自由

法ノ制定セララルルニ及ビ、信教ノ自由ハ、其ノ第二十八條ヲ以テ確保セラレタリ。

信教ノ自由トハ、如何ナル宗教モ、國法上同一ノ待遇ヲ受ケ、寵異又ハ排斥セララルルコトナク、國民ハ、其ノ擇ブ所ニ從ヒテ、之ヲ信仰スルヲ得ルノ義ナリ。然レドモ若シ其ノ教義ニシテ、國家存立ノ基礎ヲ危ウスルモノアルニ於テハ、國家ハ、自衛上、之ヲ禁遏スルヲ要ス。故ニ、信教ノ自由ハ、絶對ニアラズ、苟モ、安寧秩序ヲ妨グ、又ハ臣民タルノ義務ニ背クノ行爲ハ、嚴ニ之ヲ禁ズ。是レ憲法ノ定ムル所ナリ。例ヘバ、モルモン宗ノ一夫多妻ノ教義ノ如キハ、社會ノ秩序ヲ紊ルモノナルヲ以テ、國法ハ之ヲ許容セズ。

現時我が國ニハ、國教ナシ。國教ノ制ハ、國家ガ一ノ宗教ヲ擇ビテ、特別ノ保護ヲ與フルコトナリ。英國ノプロテスタント・エビスコバル、露國ノオーストドクス・カソリック・フェリスノ如ク、又、西曆一千九百五年前ニ於ケ

The Orthodox-Catholic Faith.

The Protestant Episcopal

國教

神道ノ教師ハ明治三十九年末現在七萬八千七百餘人アリ。神道其ノ大多數ヲ占メテ三萬二千餘人ヲ算ス。此ノ他臺灣ニハ神道ノ布教師十人アリ。

(二)佛敎。佛敎ノ我が國ニ行ハルルモノ現時ニ於テ十二宗五十六派アリ左表ニ示スガ如シ。此ノ如ク分派ノ過多ナルハ必ズシモ佛敎界ノ美事ニアラズ。

第百十二表

佛敎宗派本山所在地表

宗名	派名	本山名(所在地)
天台宗	本派	延曆寺(滋賀縣滋賀郡坂本村)
	寺門派	圓城寺(大津市)
眞盛派	東寺派	四教寺(滋賀縣滋賀郡坂本村)
	泉涌寺派	教王護國寺(京都市)
山階派	泉涌寺派	泉涌寺(京都市)
	小野派	勸修寺(京都市府宇治郡山科)
		隨心院(京都市府宇治郡山科)

眞言宗

高野派	御室派	醍醐派	新義眞言宗智山派	新義眞言宗豐山派	律宗	眞言律宗
金剛峰寺(和歌山縣伊都郡高野山)	仁和寺(京都市府葛野郡花園村)	大覺寺(京都市府葛野郡嵯峨村)	三寶院(京都市府宇治郡醍醐村)	智積院(京都市)	長谷寺(奈良縣磯城郡初瀬村)	唐招提寺(奈良縣生駒郡跡村大字五條)
					四大寺(奈良縣生駒郡伏見村大字西大寺)	知恩院(京都市)
						醫願寺(京都市)外三ヶ寺

淨土宗

本派	西山派	天龍寺派	相國寺派	建仁寺派	南禪寺派	向嶽寺派	妙心寺派
醫願寺(京都市)外三ヶ寺	天龍寺(京都市府葛野郡嵯峨村)	相國寺(京都市)	建仁寺(京都市)	南禪寺(京都市)	向嶽寺(山梨縣東山梨郡七里村)	妙心寺(京都市府葛野郡花園村)	

臨濟宗

建長寺派
東福寺派
大德寺派
圓覺寺派
永源寺派
方廣寺派
佛通寺派
國泰寺派

曹洞宗

建長寺(神奈川縣鎌倉郡小阪村大字山内)
東福寺(京都市)
大德寺(京都市府愛宕郡大宮村)
圓覺寺(神奈川縣鎌倉郡小阪村大字山内)
永源寺(滋賀縣愛知郡高野村)
方廣寺(靜岡縣引佐郡奥山村)
佛通寺(廣島縣豐田郡高阪村)
國泰寺(富山縣永見太田村)

黃檗宗

本願寺派
大谷派
高田派
木邊派
興正派
佛光寺派

永平寺(福井縣吉田郡志比谷村)
總持寺(石川縣鳳至郡楯比村大字門前)
萬福寺(京都市府宇治郡宇治村)
西本願寺(京都市)
東本願寺(京都市)
專修寺(三重縣河藝郡一身田村)
錦織寺(滋賀縣野洲郡中里村大字木部)
興正寺(京都市)
佛光寺(京都市)

眞宗

出雲路派
山元派
誠照寺派
三門徒派
本派
富士派
不受不施派
不受不施講門派

菩提寺(福井縣今立郡味真野大字清水頭)
證誠寺(福井縣今立郡新橫江村大字横越)
誠照寺(福井縣今立郡鯖江町下深江)
專照寺(福井市)
久遠寺(山梨縣南巨摩郡身延村)
大石寺(靜岡縣富士郡上野村大字上條)
妙覺寺(岡山縣御津郡金川村)
龍華教院(岡山縣御津郡金川村)

日蓮宗

顯本法華宗
本門宗
本門法華宗
法華宗
本妙法華宗

妙滿寺(京都市)
本門寺(靜岡縣富士郡北山村)
本能寺(京都市)妙蓮寺(京都市)外三ヶ寺
本成寺(新潟縣南蒲原郡本城村)
本隆寺(京都市)
清淨光寺(神奈川縣鎌倉郡藤澤町)

時宗

融通念佛宗

法相宗

大念佛寺(大阪府東成郡平野郡町大字馬場)
法隆寺(奈良縣生駒郡法隆寺村)外二ヶ寺

華嚴宗

東大寺(奈良市)

備考 新羅眞言宗ハ、智山豐山ニ派チ通シテ、大僧法院即チ根來寺和歌山縣那賀郡根來村ヲ以テ、大木山トス。

派名ニ本派ト謂フハ、其ノ宗ノ嫡流ニシテ、公稱トシテハ、何派トモ稱セザレドモ、茲ニ他流ト區別スル便宜ノ爲メニ附シタル名ナリ。

佛教ハ、欽明天皇ノ朝、我が國ニ輸入セラレテヨリ、甚大ノ速度ヲ以テ、全國上下ニ蔓延シ、聖武天皇ニ至リテハ、特ニ佛ニ歸依シ給ヒ、諸國ニ國分寺ヲ立テ、國府ヨリ其ノ費用ヲ辨ゼシメラレタリ。國分寺ハ、今尙ホ現存セルモノアリ。其ノ廢絶シタルモノモ、地名ニ國分寺ノ今日尙ホ用弗ラルルモノアルハ、其ノ舊跡タルヲ知ルニ足ル。是ヨリ、佛教ハ、事實上我が國教ト爲レリ。徳川氏ノ天下ヲ統一スルニ及ビテハ、其ノ政策上、厚ク佛寺僧尼ヲ遇シ、寺院ノ主要ナルモノハ、朱印ヲ以テ寺領ヲ賜ヒ、特ニ外教禁遏ノ方法トシテ、宗門調ヲ嚴ニシ、國民ヲシテ總テ佛徒タラシメタリ。明治維新ノ後、皇威ノ顯揚ト共ニ、神道大ニ勢ヲ得、一ビ佛

徒ハ頗ル窮迫ノ境遇ニ陥リタルモ、幾ナラズシテ、政府ハ、宗教ニ對シ、一視同仁ノ政策ヲ執ルニ至リタルヲ以テ、神道ノ爲メニ、佛教ガ其ノ勢力ヲ減殺サルルニハ至ラザリシモ、今ヤ全ク舊時ノ特別保護ヲ失ヒ、神道ハ勿論、外來ノ諸宗ト同等ノ地位ニ立タザルベカラザルニ至リ、加フルニ、泰西ノ宗教ハ、新來ノ銳氣ヲ以テ、益各地ニ傳播スルニ反シ、佛門傳道ノ任ニ當ルモノニシテ、其ノ器ニアラザルモノ多ク、佛教ノ氣勢ハ、往昔ノ盛運ヲ挽回スル能ハザルガ如シ。

明治三十九年末現在、全國寺院ノ數ハ、七萬二千二百三十七アリ。別ニ境外佛堂三萬七千五百六十三存ス。寺院ノ數ハ、眞宗最モ多クシテ、凡二萬寺アリ。曹洞宗ノ一萬四千寺、眞言宗ノ一萬三千寺、淨土宗ノ八千寺、臨濟宗ノ六千寺、日蓮宗ノ五千寺、天台宗ノ四千七百寺、順次之ニ次ギ、其ノ他ハ六百寺ニ滿ツルモノナク、法相宗ノ四十一寺、華嚴宗ノ三十二寺最モ少數ナリ。之ヲ地方別ニ付テ觀レバ、最モ多數ノ寺院ヲ有ス

ルハ、滋賀縣ニシテ、人口一萬ニ付四十六ノ割合トシ、奈良縣ノ三十三、山梨縣ノ三十二、京都府ノ三十等之ニ次グ。其ノ最モ少キハ、鹿兒島沖繩ノ二縣ナリトス。

僧侶ノ數ハ、明治三十九年末現在、全國ニ十二萬餘人アリ。曹洞宗最モ多クシテ、二萬七千餘人アリ。眞宗大谷派二萬二千人、眞宗本願寺派約二萬一千人之ニ次グ。

臺灣ニハ、佛教ノ布教師五十二人アリ。

(三) 基督教

(三) 基督教。幕政時代ニ於テ、基督教ガ甚シク政府ノ壓迫ヲ蒙リタルコトハ、曾テ屢之ヲ陳ベタリ。明治維新ノ後、外教ノ禁ヲ解キ、其ノ二十年、憲法ヲ以テ、確然信教ノ自由ヲ保障セララルニ至レリ。

外教ノ禁ヲ解キタルハ、即チ我が國上下舉リテ、泰西ノ文化ヲ輸入スルニカムルノ時ニ當リ、加フルニ、我が在來ノ佛教ハ、泰平數百年ノ餘弊已ニ民心ヲ維グニ足ラザラントスルニ際ス。是ニ於テカ、基督教ハ、銳

第百十四表

意其ノ宣布ニカメ、傳播年ヲ逐ヒテ著ク、信徒ノ數ハ、未ダ佛教ニ及バズト雖モ、其ノ勢力侮ルベカラザルモノアリ。

我が國ニ現存スル基督教ノ教派ハ、左ノ如クニシテ、此ノ他、何レノ教派ニモ屬セザル基督教信者アリ。

基督教派表

- 天主公教 The Roman Catholic Church.
- 「正統」正教 The Greek Orthodox Church (Russian).
- 日本基督教會 The Church of Christ in Japan (Presbyterian).
- 組合基督教會 The Kumiai Churches in Japan (Congregational).
- 日本聖公會 The Episcopal Church in Japan.
- 浸禮教會 The Baptist Church.
- 英以監督教會 The Methodist Episcopal Church.
- 南英以教會 The Methodist Episcopal Church, South.
- 日本英以教會 The Methodist Church of Japan (Canadian).
- 美普教會 The Methodist Protestant Church.

- 布美教會 The Free Methodist Church (?)
- 福音教會 Evangelical Association.
- 福音路帖 Evangelical Lutheran Church.
- 「スカンディナヴィア・メソヂヤン・ソサエティ」 Scandinavian Japan Alliance.
- 「クリスチアン・ユニオン」 Christian and Missionary Alliance.
- 同胞教會 United Brethren in Christ.
- 普及福音教會 German Evangelical Missionary Society (?)
- 「ユニヴァーサル」 Universalist Church.
- 友會 Society of Friends.
- 基督教會 } Churches of Christ (Disciples).
- 「クリスチヤン」 }
- 「セブン・デー・アドヴァンティスト」 The Seventh Day Adventists.
- 救世軍 Salvation Army.
- 「リフォームド・プロテスタント・チャーチオブ・イングランド」 The Reformed Protestant Church of England.
- 「ヘブチス」教會 Heptaheth Faith Min. (?)

明治三十九年末現在、全國基督教徒ノ總數ハ、約十三萬二千人アリテ、天主教ノ五萬七千人ヲ最多トシ、日本基督教會ト、ハリストス正教トノ各約一萬五千人、日本聖公會一萬三千人、組合基督教會ノ一萬一千人等、之ニ次グ。其ノ地方的分布ノ狀況ハ、長崎縣ノ三萬四千人ヲ最多トス。全國基督教信徒數ノ四分ノ一ニ居リ、天主教徒ノ五分ノ三ヲ占ム。之ニ次グハ、東京府ノ二萬人ニシテ、其ノ他一萬人ニ及ブモノナク、北海道ノ七千餘人、大阪府ノ六千八百人、神奈川縣宮城縣ノ各五千餘人、兵庫縣ノ各四千人等ハ、其ノ較多キモノナリ。長崎ハ、幕政時代ニ於テ、外船ノ出入セシ唯一ノ港灣ナリシヲ以テ、當時外教ノ渡來傳播セルコト著ク、傳ヘテ今ニ至レルモノナリ。舊幕ノ世我ニ傳來セル唯一ノ耶蘇教、即チ天主教ガ、同縣ニ於ケル基督教徒ノ百中八九十二居ルハ之ガ故ナリ。東京府ハ、全國文化ノ中心ナルヲ以テ、基督教徒ノ數モ亦多ク、而シテ、其ノ教派モ一二ノモノニ偏スルコトナク、我が國ニ現存セル教派

ノ各種類ハ、此ノ地ニ在リ。北海道及ビ大阪神奈川兵庫宮城福岡ノ諸府縣ニ信徒ノ多キハ、或ハ新開地タリ、或ハ大都府開港場等ヲ包有シ、又ハ、學校ノ所在地タル等ニヨリ、傳道ニ便宜多キコトガ、其ノ主タル因ナルベシ。

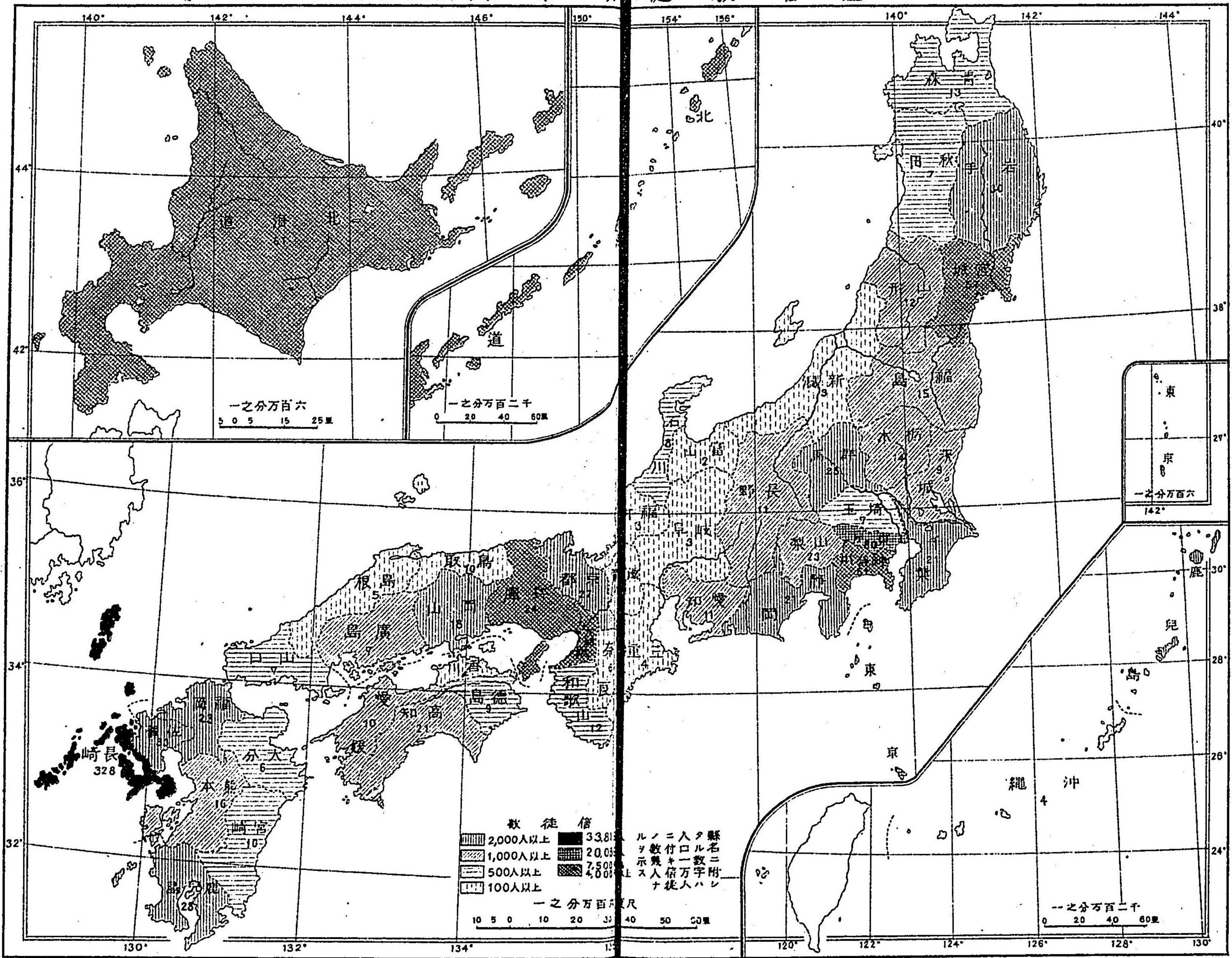
明治三十九年末ニ於ケル基督教宣布者ノ數ハ、一千七百人ニシテ、其ノ一千百餘人ハ内國人ナリ。基督教ノ日本化セルコト、以テ知ルベシ。而シテ、其ノ會堂講義所ノ數ハ、總計一千百五十二ニシテ、百以上ヲ存スルハ、東京府(百二十九)トシ、京都大阪神奈川兵庫静岡宮城ノ諸府縣ハ、稍多キモ、共ニ五十二足ラズ、東京府ノ外、五十以上ヲ有スルハ、長崎縣ノ十六ノミニシテ、其ノ五十四ハ、天主教ニ屬ス。此ノ他、北海道ニハ、會堂講義所ノ數、七十九ヲ算ス。

臺灣ニハ、基督教ノ布教師百五十三人、信徒一萬九千人アリ。

(四) 其ノ他ノ宗教思想

(四) 其ノ他ノ宗教思想。我ガ國ニ行ハルル宗教ハ、以上三者ヲ以テ主

基 督 教 徒 分 布 圖 (明治三十三年末)



第三十三圖 (日本政治地理書三)

行印衆小国神聖東

儒教

トスルモ、尙巨細ニ觀察スレバ、別ニ多少ノ宗教的思想ノ行ハルルモノアリ。

儒教ハ、我が國上下ノ倫理觀念ノ基礎ヲ爲スモノニシテ、吾人が以テ世界ニ誇ル所ノ大和魂ハ、實ニ此ノ教ニ依リテ玉成セラレタリ。然レドモ儒教ノ説ク所ハ、現世ニ於ケル人倫ノ大道ニシテ、未來ノ冥福ニ關セズ、故ニ、宗教ニアラズ。唯無稽ノ徒、時ニ之ヲ誤解シ、釋典ヲ以テ宗教上ノ儀式トシ、冥福ヲ祈ルナキニアラズ。此ノ意義ニ於テハ、亦一ノ宗教タリ。特ニ臺灣漢族ノ宗教トスル所ハ、其ノ同族タル清國民ト同ジク、儒教ニシテ、關帝廟ノ如キヲ祭り、以テ安心立命ノ地トス。又、家廟ヲ建テテ、祖先ヲ祭ル。是等ノ習慣ニ依リテ設立セル廟宇ノ數、明治四十年末現在約二千アリ、各廳下ニ分布ス。

臺灣蕃族ノ宗教思想ハ、極メテ幼稚ニシテ、各種ノ迷信ニ支配セラル。其ノ最モ普通ニ行ハルル信仰ハ、祖靈ノ不滅ニシテ、頗ル祖先ヲ尊敬シ、

祭祀ヲ重シ、吉凶禍福皆之ニ祈ル。

「アイヌ」種族ハ、多神教ノ信者ニシテ、迷信ニノミ支配セラレ、別ニ説クベキナシ。

大和民族ノ宗教ハ、前ニ舉ゲタル神佛耶ノ三教ヲ主トスレドモ、佛教徒ノ中ニハ、其ノ信仰ノ確實ナラザルモノ多ク、是等ハ、事實ニ於テハ、多神教徒ニシテ、身佛徒タルト同時ニ、又神道ヲ信ジ、或ハ富士講淺間講御岳講等ノ如ク、山靈ヲ拜スルモノアリ、或ハ禽獸木石ヲ拜スルモノ、亦尠カラズ。

第八章 衛生

我が國法ガ衛生ニ注意セルコトハ、頗ル緻密ニシテ、無能不良ノ徒ノ醫業ニ從フヲ禁ズルガ爲メニ、醫師免許規則ヲ設ケ、且、鍼灸術ノ營業ヲ取締リ、醫藥ノ精良ヲ期シ、投藥ノ誤謬ト劇藥ノ濫用トヲ防グガ爲メニ、

賣藥規則賣藥營業並藥品取扱規則阿片法藥劑師試驗規則等ヲ定メ、傳染病ノ豫防撲滅ヲ目的トシテ、傳染病豫防法海港檢疫法癩豫防法痘痘規則等ヲ制定シ、此ノ他、產婆獸醫獸疫ニ關スル規定アリ。公衆常時ノ衛生ヲ保持スルガ爲メニハ、飲食物取締法汚物掃除法水道條例下水道法等ノ制アリ。臺灣ニ於テモ、略是等ニ類スル法令アリ。

我が國民ノ衛生狀態ハ、逐年好良ノ域ニ入ルト雖モ、尙遺憾ヲ感ズルコト尠カラズ。

我が國成年人ノ身長ハ、男子五尺三寸、女子四尺九寸ヲ平均トシ、體量ハ、男子十二貫六百匁、女子十一貫六百匁ヲ平均トス。歐米人ニ比スレバ、身長三四寸低シ。體量亦之ニ準ズ。此ノ如ク、我が國民ノ體格ハ、劣等ナリト雖モ、十數年來、年々發達セルコトハ、統計上、明白ニシテ、將來ノ成果ハ期シテ待ツベシ。

死亡者ノ數ハ、明治三十九年中ニ於テ、九十六萬六千人アリ。人口百

身長體量

死因病類

ニ付二人強ノ割合トス。死因タル病類ニ付テ之ヲ區別スレバ、呼吸器病百分ノ二十三強、消化器病ハ二十一強、神經系及ビ五官病十九、發育及ビ營養的病ハ十五強トシ、傳染病ハ五弱ニ過ギズ。呼吸器病ノ中、肺病ハ、四割強ノ多キニ居リ、全死亡者ノ百分ノ九強ヲ占ム。

傳染病

傳染的性質ヲ有スル疾病ノ中、虎列刺、赤痢、腸窒扶私、痘瘡、發疹、窒扶私、猩紅熱、實布埤利亞、ペスト、ハ、傳染急激ニシテ、危害甚シケレバ、國法ハ、之ニ對シテ、特別ニ嚴重ナル豫防撲滅ノ方法ヲ定ム、之ヲ八種傳染病ト稱ス。

八種傳染病ノ明治三十九年ニ於ケル死亡者總數ハ、凡一萬六千人ニシテ、其ノ五千九百人ハ、腸窒扶私、五千一百人ハ、赤痢、四千一百人ハ、實布埤利亞、三百八十餘人ハ、ペスト、百餘人ハ、痘瘡トシ、其ノ他ハ十人ニ滿タズ。

痘瘡ハ、往時流行猖獗ヲ極メ、一ビ之ニ罹リテ免疫性トナラザル者ハ、

何時之レガ爲メニ命ヲ隕スヤモ知ルベカラズシテ、人々心ヲ安ゼザリシガ、種痘ノ法發見セラレ、我ガ國モ、國法ヲ以テ之ヲ強制スルニ及ビテ、天然痘ハ、著ク其ノ數ヲ減ゼリ。

傳染病ノ流行期ヲ見ルニ、赤痢ハ七月ヨリ十一月ノ間、即チ、夏秋ノ交トシ、腸窒扶私ハ、一年ヲ通ジテ流行スルモ、其ノ最モ猖獗ナル時期ハ、赤痢ニ同ジ。痘瘡ハ、春期即チ三月ヨリ六月ノ間ニ流行シ、實布埤利亞ハ、十一月ヨリ翌年三四月ノ交、即チ、氣候寒冽ノ時期ニ最モ盛ナリ。

各地方ニ付テ明治三十九年ニ於ケル傳染病流行ノ狀況ヲ一言スレバ、赤痢ハ、福島熊本兵庫愛媛大阪群馬ノ諸府縣ニ最モ多ク、腸窒扶私ハ、東京府及ビ福岡縣ニ著ク多ク、長野新潟山形宮城ノ諸縣ニ於テモ、亦盛ナリ。痘瘡ハ、主トシテ、山口ニ行ハレ、島根之ニ次ギ、實扶埤利亞ハ、東京愛知大阪靜岡新潟福島ノ諸府縣及ビ北海道ニ多ク、ベストハ、大阪府和歌山縣ニ著ク多ク、兵庫縣之ニ次グ。

癩病

八種傳染病以外ニ於テ、傳染性疾病ノ最モ忌ムベキハ、肺病及ビ癩病トス。其ノ經過ノ遲緩ナルガ爲メニ、從來之レガ取締ハ、等閑ニ附セラレタルモ、近年政府ハ、肺病ノ傳播ヲ防グガ爲メニ、消毒上ノ命令ヲ發シ、又明治四十年法律第十一號ヲ以テ癩豫防法ヲ發布セリ。

明治三十七年末ニ於ケル癩病患者ノ總數ハ、內務省ノ統計ニ依レバ、約三萬人ト稱セラル。然レドモ、此ノ他、多數ノ隱匿セラレタルモノアルベク、實際ノ總數ハ、十數萬ニ上ルベキコトハ、強チ架空ノ推斷ニアラズ。

內務省ノ統計ニ從ヒ、癩病患者ノ分布ヲ觀レバ、熊本縣ノ二千七百餘人ヲ最多トシ、鹿兒島千六百餘人、福岡千四百餘人、大分千三百餘人、愛知(千餘人)、兵庫千餘人)ノ諸縣之ニ次グ、其ノ他一府縣ニシテ、五百人以上ナルハ、大阪、靜岡、岐阜、三重、岡山、廣島、山口、徳島、愛媛、長崎、佐賀、宮崎、沖繩、千葉、群馬、栃木、福島、宮城、岩手、青森、新潟、長野トス。之ヲ概言スレバ、癩病ハ、

海港檢疫

九州、四國ニ最モ多シ。九州ノ中、熊本縣ノ著ク多數ヲ有スルハ、清正公參拜ノ爲メ、癩患者ノ輻湊スルコト主因タリ。四國ニ多キハ、癩患者ノ四國巡禮トシテ、諸方ヨリ轉來スルモノ多キニ因ルベシ。

明治四十年七月、全國ヲ五區ニ分チ、道府縣ハ其ノ區域ニ依リ、區域内ニ於ケル癩病患者ヲ入ラシムベキ癩養所ヲ設置スベキコトナレリ。而シテ、其ノ設立地ハ、第一區ハ東京府下、第二區ハ青森縣下、第三區ハ大阪府下、第四區ハ香川縣下、第五區ハ熊本縣下トス。

傳染病豫防ノ爲メ、海外諸港及ビ臺灣ヨリ來ル船舶ニ對シテハ、檢疫ヲ行フ。檢疫ヲ施行スル海港ハ、橫濱、神戸、長崎、門司、下關、若松、及ビ口津ノ七港トシ、其ノ他ノ海港ニ於テ、臨時之ヲ施行スルトキハ、之ヲ指定ス。而シテ、下關、若松、二港ニ來ル船舶ハ、門司港ニ於ケル檢疫所ニテ檢疫ヲ受ケシメ、又、橫濱港及ビ口津港ニ於テ檢疫ヲ受ケタル船舶ニシテ、消毒ヲ要スルトキハ、前者ハ、長濱(神奈川縣久良岐郡金澤村長濱)ニ、後者ハ、女神(長崎市長崎市)ニ廻

醫師

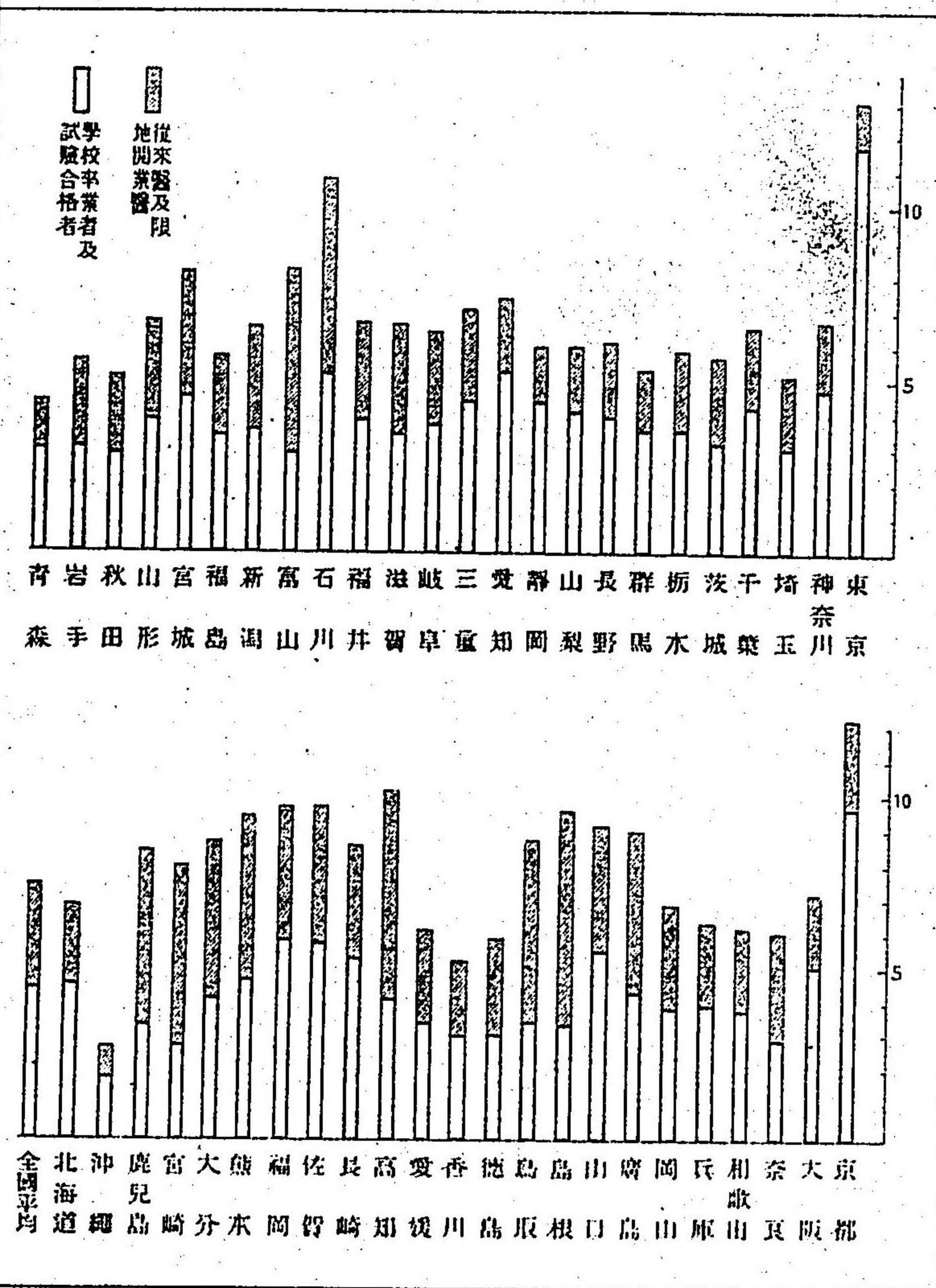
航セシム。檢疫ヲ施行スル傳染病ハ、虎列刺、痘瘡、猩紅熱、ペスト、及ビ黃熱ノ五種トシ、其ノ他ノ傳染病ニ對シ、臨時ニ檢疫ヲ施行スルトキハ、之ヲ指定ス。

我が國ノ醫術ハ、近年著大ナル進歩發達ヲ爲シ、都會ノ地ニ於テハ、到ル所トシテ、優秀ナル醫師ヲ見ザルナキニ至レルモ、偏陬ノ地ニハ、尙從來醫ト稱スル不完全ナル醫師ノ存スルモノ多シ。

明治三十八年末ニ於ケル全國醫師ノ數ハ、三萬六千五百餘人ニシテ、人口一萬ニ付、七人七分三厘ノ割合ナリ。其ノ中、一定ノ學校ヲ卒業シ、又ハ、醫術開業試験ニ合格シ、相當ナル醫學上ノ新智識ヲ有スル者ハ、二萬一千餘人ニシテ、從來醫其ノ他不完全ナル技能ヲ有スル者、今尙ホ一萬五千餘人ノ多キヲ算ス。是等不完全ナル醫師ハ、大概ネ已ニ老境ニ在リ、而シテ帝國大學醫科大學其ノ他ノ官公立ノ醫學校ノ卒業生開業試験合格者ハ、年々其ノ數ヲ増加セルヲ以テ、數年ノ後ニ至ラバ、大ニ醫

(第三十四圖) 日本政治地理卷三

醫師分布圖
人口一萬ニ對スル
醫師數ノ割合
(明治三十八年現在)



界ノ面目ヲ改ムルニ至ルベシ。明治三十九年ニ於ケル醫科大學卒業
者凡三百人、醫學專門學校卒業者凡五百人、公立醫學校卒業者二百七
十餘人アリ。而シテ醫術開業試驗後期合格者ノ數ハ年々七八百人ア
リ。

人口ニ對スル醫師ノ割合ヲ各地方別ニ見ルニ、人口一萬ニ付東京府
ノ十三人八、最モ多ク、石川縣ノ十人九、高知縣ノ十人三、之ニ次ギ、其ノ他
十人以上ノ府縣ナク、京都、廣島、山口、島根、佐賀、福岡、熊本、大分ノ諸府縣ハ、
各九人以上ヲ以テ、更ニ之ニ次グ。最モ少キハ、沖繩縣ノ二人六ヲ除キ、
青森縣ノ四人五トシ、其ノ他、五人以下ノ府縣ナシ。

産婆ノ數ハ、明治三十九年末現在、二萬六千餘人アリ。其ノ地方的分
布ハ、人口一萬ニ付十人一ヲ以テ、岐阜縣首位ニ居リ、青森縣ノ九人二、福
岡縣ノ九人一、之ニ次ギ、愛知、石川、三重、兵庫、島根ノ諸縣、各八人以上ヲ以
テ、更ニ之ニ次グ。最モ少キハ、山梨、德島二縣ノ各一人三、長野縣ノ一人

産婆

病院

四トシ、岡山大分二縣ノ各一人六之ニ次グ。東京大阪京都三府ハ、全國平均率ト大差ナシ。
 病院ノ總數ハ、明治三十九年末現在、官立五、公立百十二、私立六百六十二ニシテ、合計七百七十七院トス。此ノ他、傳染病院及ビ隔離病舎ノ公立ニ係ルモノ九十三アリ。公立病院一院ヲモ有セザルハ、埼玉群馬茨城・奈良三重岩手和歌山徳島高知宮崎ノ諸縣トス。北海道ニハ、二十ノ公立病院アリテ、何レノ府縣モ、之ニ及バザルコト遠シ。

第百十七表

地方別		病院數	醫 師		産 婆	
本	數		付人口一萬ニ 醫師數	數	付人口一萬ニ 産婆數	
東京	一八三	三、三五〇	一三・八	一、六一八	六・四	
神奈川	三二	七三四	七・一	三二一	三・〇	
埼玉	一一	六三一	五・二	二五八	二・一	
千葉	三四	八六八	六・七	四六〇	三・五	

衛生機關分布表

州 本		中 區															
山形	宮城	福島	新潟	計	富山	石川	福井	滋賀	岐阜	三重	愛知	静岡	山梨	長野	群馬	栃木	茨城
四	一七	一〇	一七	四〇六	七	二二	九	一〇	一〇	九	一三	一六	一一	一三	四	二七	六
六〇三	七四六	六七三	一、一六二	一四、二九六	六三三	八一七	四二〇	四六九	六六五	七五一	一、三二二	七八四	三二五	八三六	四八〇	五四二	六七九
六・八	八・三	五・八	六・七	七・七	八・三	一〇・九	六・七	六・七	六・六	七・三	七・七	六・一	六・一	六・三	五・四	六・〇	五・七
六七四	三八一	七八〇	一、三二四	九、三三二	四三四	六二六	二九六	五二四	一、〇三三	八七七	一、三九五	四七七	六八	一八六	二〇八	一九〇	三八一
七・六	四・二	六・六	七・六	四・九	五・七	八・三	四・七	七・五	一〇・一	八・五	八・一	三・七	一・三	一・四	二・三	二・一	三・二

第九篇 住民

國 四		區 西 州 本										區 北					
愛媛	香川	德島	計	鳥取	島根	山口	廣島	岡山	兵庫	和歌山	奈良	大阪	京都	計	青森	岩手	秋田
一四	一四	一四	一七六	六	五	七	一二	三	三三	九	七	六三	三一	七二	六	八	一〇
六四三	三七八	四〇八	八,四七二	三七九	七〇四	九三七	一,三六七	八一九	一,一八七	四三一	三三五	一,三二二	九八一	四,三三五	二九八	四一八	四三五
六・三	五・四	五・九	八・〇	八・九	九・七	九・四	九・二	七・〇	六・四	六・三	六・一	七・五	九・五	六・二	四・五	五・六	五・二
三八九	四八〇	九四	六,七〇二	一五七	六三六	七〇一	九〇三	一八六	一,六一〇	五三一	三九七	一,〇五四	五二七	四,四七六	六二一	三〇七	三八九
三・八	六・九	一・三	六・二	三・六	八・八	七・〇	六・一	一・六	八・八	七・七	七・二	五・九	五・〇	六・四	九・二	四・一	四・六

備考。醫師ノ數ハ、明治三十八年末現在、病院及ビ産婆數ハ、明治三十九年末現在ナリ。

醫術ニ關スル諸學校ハ、第五章教育ノ下ニ於テ之ヲ陳ベ、傳染病研究

合 計	北 海 道	沖 繩	區 州 九							高 知		
			計	鹿兒島	宮 崎	大 分	熊 本	福 岡	佐 賀		長 崎	
八七〇	九一	二	六七	一〇	五	六	二	一六	一三	一六	五六	一四
三六,五〇八	七八二	一三〇	六,四一〇	一,〇一七	四二二	七五八	一,一四〇	一,五四一	六四〇	九〇二	二,〇八三	六五四
七・六	七・一	二・六	九・二	八・五	八・一	九・〇	九・六	九・九	九・八	八・九	六・八	一〇・三
二六,三八七	五二五	一七〇	三,九四九	三九四	一三三	六七一	一,四四五	三六一	五九九	一,二三三	二七〇	四・二
五・五	四・五	三・五	五・六	二・九	七・七	一・六	五・六	九・一	五・五	五・八	四・〇	四・二

所等ニ就イテハ、第一卷第五篇第一章中、内務省ノ部ニ述ベタリ、就イテ看ルベシ。

實業

我が國都鄙賣藥ノ行ハルルコト盛ナリ。明治四十年度末ニ於ケル全國賣藥ノ種類ハ、七萬七千九百七十三種ニシテ、有名ナル富山縣其ノ首位ヲ占メテ、九千二百餘種ヲ出シ、我が國第一ノ都會ヲ有スル東京府八千五百餘種、大阪府三千六百餘種、廣島佐賀二縣各三千餘種ヲ産シ、其ノ他、一千五百種以上ナルハ、長野愛知三重滋賀奈良兵庫岡山山口長崎福岡熊本鹿兒島ノ諸府縣トス。

水道

山地ニシテ、清水供給ノ十分ナル地方ハ、姑ク之ヲ措キ、苟クモ多少都邑ヲ形成セル場所ニ於テ、水道事業ノ必要ナルハ、言ヲ須タズト雖モ、之ガ建設ニハ、頗ル多額ノ費用ヲ要スルヲ以テ、大都會ト雖モ、未ダ之ガ計畫ヲモ見ザルモノ多シ。明治四十二年四月ニ於テ、水道ヲ有スル地方ハ、東京横濱大阪神戸岡山廣島下關長崎神ノ浦長崎縣西彼杵郡神ノ浦

臺灣ニ於ケル衛生

村、樺澤山形縣南村山郡樺澤村、飯塚山形縣南村山郡飯塚村、函館ニシテ、此ノ外、工事中ニ屬スルモノ、秋田高崎新潟門司小樽京都堺名古屋青森甲府若松福岡小倉等ノ諸市アリ。又水道ノ新設ヲ出願シタルモノハ、水戸市郡山町等アリ。

臺灣ニハ、明治四十年末現在病院官公私立ヲ合シテ、四十五院アリ。醫師二百五十六人、醫生約一千五百人、産婆百六十三人アリ。醫師醫生ヲ合シテ、人口一千八百十餘人ニ一人ノ割合ナリ。醫生トハ、臺灣土人ノ不完全ナガラ、醫術ニ従事スルコトヲ公許セラレタルモノナリ。

麻刺里亞ハ、臺灣ノ地方病トモ稱スベキモノニシテ、明治四十年中、總患者數二十二萬七千餘人ノ中、四萬九千一百餘人ヲ算シ、全數ノ約百分ノ二十二ニ居ル。内地人ノ臺灣ニ轉住セルモノニシテ、此レガ襲撃ヲ被ラザルモノハ稀ナリ。死亡者ヲ病類ニ從テ分ツモ、麻刺里亞ノ爲メニ命ヲ隕シタルモノ、頗ル多ク、全數ノ百分ノ十一ニ居ル。

ノ非常ノ災害アリタルトキ、臨時救護ヲ要スル者ヲ救フノ道ニシテ、之ニ避難所ヲ與ヘ、食料被服ヲ給シ、治療ヲ加ヘ、更ニ小屋掛ヲ爲シ、業務ニ就クニ必要ナル費用ヲ給スルモノナリ。畢竟、一時ノ困厄ヲ救フノ方法ニシテ、貧民救助トハ、其ノ主旨ヲ異ニス。北海道府縣ハ、之ガ爲メ、五十萬圓以上ノ罹災救助基金ヲ維持スルノ義務アリ。其ノ利子ヲ以テ、之ガ費用ニ應ゼシムルノ組織トス。従前ノ備荒儲蓄米ノ變體ナリ。沖繩縣ハ全然國庫ノ負擔ナリシガ、明治四十二年四月一日ヨリ、自治團體トナリ、罹災救助基金二十萬圓以上ヲ貯蓄スベキコトヲナレリ。

明治三十九年度末現在、罹災救助基金ノ額ハ、愛知縣ノ百八十二萬圓ヲ最多トシ、三重縣ノ百七十七萬圓之ニ次ギ、埼玉縣、百四十五萬圓、岐阜縣、百四十三萬圓、新潟縣、百二十七萬圓、廣島縣、百二十五萬圓、兵庫縣、百二十二萬圓、岡山縣、百一十一萬圓等、更ニ之ニ次グ。曾テ非常ノ災害ヲ蒙リタル地方及ビ其ノ附近ノ府縣ニ於テ、概シテ罹災救助基金ノ積立ニ熱

貧民救助

心ナルハ、自然ノ理ナリ。富山縣ノ毎時水害ニ罹ルヲ以テシテ、基金額ハ僅ニ五十七萬圓餘ニ過ギザルハ、災害ノ創痕未ダ癒エズ、力ヲ基金積立ニ及ボシ難ケレバナルベシ。

明治三十九年度ニ於テ、罹災救助ノ爲メ、基金ヨリ支出シタル金額ハ、全國ヲ通ジテ、二十一萬一千餘圓ニ過ギズ。此ノ他、異常ノ災害アリタル場合ニ於テ、國費ヲ以テ救助スルハ、一時ノ處分ニシテ制度ニアラズ、又、自カラ此ニ言フ所ト別ナリ。

貧民救助ハ、畢竟無告ノ窮民ヲ救フノ道ニシテ、現今ノ制度ニ於テハ、獨身者疾病ニ罹リ、或ハ幼弱ニシテ、生業ヲ營ム能ハザル者、及ビ獨身ニアラザルモ、其ノ家族老衰幼弱ニシテ、同一狀況ニ在ル者ニ扶助米ヲ給ス。其ノ額ハ、僅カニ糊口ヲ凌グニ過ギズ。此ノ他、三ツ子ヲ産出セル貧困者ニ一時養育料ヲ給シ、又、棄兒ヲ養育スル者ニハ、養育米ヲ給ス。其ノ額ハ、共ニ頗ル微少ナリ。明治三十九年末現在、救助ヲ受クル者十

行旅病人・死亡人

三萬九千人アリテ、其ノ救助金ハ、二十萬九千圓ナリトス。其ノ人員金額トモ、各地方ニ依リ、著キ差異アリ。廣島縣ノ二萬五千圓、山口縣ノ一萬四千圓、青森縣ノ一萬三千圓ハ、救助金ノ多額ナルモノニシテ、山梨縣ノ二百餘圓、埼玉縣ノ三百餘圓、鹿兒島縣ノ四百圓等ハ、其ノ少額ナルモノナリ。此ノ人員金額ノ差異ハ、必ズシモ地方ノ貧富ヲトスルニ足ラズ。畢竟、地方應ノ救助處分ノ寬嚴ニ存スルモノナルベシ。

棄兒ノ現員ハ、二千一百人ニシテ、一年間ノ養育料ハ、一萬七千圓トス。以上ハ、恤救規則ニ依ル救助ニシテ、國庫ノ費用ヲ以テス。此ノ他、府縣以下ノ地方團體ニ於テスルモノハ、固ヨリ、此ノ以外トス。但シ、現今、府縣以下ニ於テスル救助モ、極メテ不完全ナルモノナリ。

行旅中、疾病ニ罹リテ歩行ニ堪ヘズ、而モ療養ノ途ヲ有セズ、且、救護者ナキ者ハ、行旅病人トシ、其ノ死亡シテ引取人ナキ者ヲ行旅死亡人トシ、所在地市町村ニ於テ一時之ヲ救護シ、又ハ、假葬ヲ爲スノ義務アリ。

慈善事業

行旅病人死亡人ハ固ヨリ大概ネ貧困者ナリト雖モ、之ヲ救フハ、貧民救助ノ主旨ニアラズ。行旅中ノ薄命者ヲ一時救護スルノ義ナリ。故ニ、其ノ費用ハ、本人ノ携帯セル金錢財物ヲ以テ支辨セシメ、本人之ヲ有セザレバ、民法上ノ扶養義務者ヨリ辨償セシメ、此ノ辨償ヲモ得ル能ハザルトキハ、本人住所地又ハ所在地ノ府縣ノ負擔ニ歸ス。

近年、慈善事業頗ル發達シ、孤兒院育兒院癩病院等ノ救貧施設ノ行ハルルモノ少カラズ。然レドモ、其ノ大多數ハ、私立ニシテ、成績未ダ著カラズ。現今存在スル設備ニシテ見ルベキモノハ、東京市養育院東京府巢鴨病院東京慈惠醫院福田會育兒院東京威化院等トス。

東京市養育院ハ、市立ニシテ、明治六年ノ創立ニ係リ、市内在住ノ鰥寡孤獨ヲ救濟シ、行旅病人棄兒遺兒迷兒ヲ收容シ、近年、又威化部ヲ設ケタリ。明治四十年末ニ於テ、現ニ男八百九十六人、女六百十人、合計一千五百六人ヲ收容救護セリ。

巢鴨病院ハ、東京府立ニシテ、明治十二年七月之ヲ創設ス。ノ府内ノ窮民及ビ行旅病人中ノ癡狂者ヲ治療スルヲ目的トシ、兼ネテ委託患者自費患者ヲモ收容ス。明治四十年末現在、施療患者二百三十二人ニシテ、其ノ他百八十六人アリ。

慈惠醫院ハ、明治十五年八月ノ創立ニ係ル。私立病院ニシテ、東京芝公園内ニ在リ、貧民施療ヲ目的トス。明治四十年中、入院患者七百十二人ニシテ、年末在院者五十一人アリ。同年中ノ外來患者ノ數ハ、約四萬人トス。

福田會育兒院モ亦私立ニシテ、明治十二年六月始メテ之ヲ設ク、東京麻布笄町ニ在リ。府下ノ極貧或ハ父母死シテ養育者ナキ一才ヨリ六才迄ノ幼者ヲ收容ス。明治四十年末現員、男女合計百二十二人ナリ。

東京感化院ハ、明治十八年十月ノ設立ニ係ル、私立ニシテ、東京澁谷ニ在リ。不良少年ノ感化矯正ヲ目的トス。明治四十年末現在、院生四十

臺灣ニ於ケル救恤

五人アリ、總テ男子ナリ。

臺灣ニ於ケル救恤上ノ制度ハ、大要内地ニ異ナラズ。内地ニ於テ、罹災救助基金ヲ積立ツルハ、府縣ニシテ、臺灣ニ於テハ、地方費區ナリ。又、貧民救助モ、地方費區ノ負擔ニ屬ス。同地ニ於ケル慈善事業ノ主要ナルモノハ、臺北仁濟院、彰化慈惠院、嘉義慈惠院、臺南慈惠院、澎湖普濟院等トシ、各院ノ目的同一ニシテ、不具廢疾、病傷、老衰、幼弱ノ者、及ビ寡婦ニシテ、貞節ナル者等ノ窮民ヲ收容ス。皆清國領有當時ヨリ存在シタルヲ整理改良シタルモノナリ。

列國ノ救貧制度

英國ニ於テハ、救貧ニ關スル各種ノ法令アリテ、貧民ハ、自宅ニ於テ、又ハ、救貧院ニ於テ、救護ヲ受ク。英蘭威耳斯全部ハ、之ガ爲メニ六百五十ノ救貧區ニ分タレ、各區ニ救貧委員アリ。又、救貧ノ目的ノ爲メニ、特ニ、救貧税ト稱スルモノヲ徵收ス。一千九百六年、英聯合王國全體ニ於テ、救貧ノ爲ニ支出シタル金額ハ、一億六千七百萬圓ニシテ、救助ヲ受ケタ

ル人員ハ、百十萬人以上ナリ。

●佛國ニハ、多數ノ公立慈善院アリ。一千九百五年ニ於テ、四千七百萬フランヲ支出シ、以テ百三十五萬人ノ貧民ヲ救濟セリ。此ノ他、公費ヲ以テ孤兒棄兒ヲ救護シタルモノ十二萬人ニシテ、其ノ費用三千四百萬フランニ上リ、又慈惠病院ノ數一千八百アリ。一千九百五年末ニ於テ、十三萬人ノ現在院者ヲ有シ、同年中ノ費用一億七千萬フランヲ算ス。其ノ他尙多數ノ救貧施設アリ。

●獨逸國ニ於テハ、パブリヤトアルサスローレイントヲ除クノ外、大小二級ノ救貧區ニ分ツ。其ノ小者ハ、普通ハ、町村ニシテ、大者ハ、郡州又ハ一聯邦ヲ以テス。救貧區ハ、其ノ區域内ニ住所ヲ有スル貧民ヲ救護スルノ義務アリ。又、政府ハ、貧困豫防ノ方法トシテ、労働者及ビ其ノ使用人ニ對シ、法律ヲ以テ、強制保險ノ制ヲ定メタリ。救貧ニ關スル統計明ナラズ。

●米國ニ於テモ、亦救貧法アリ。一千九百三年ニ於テ、救護院ノ數二千七百餘、救護セラレタル者、八萬二千八十人トス。而シテ、其ノ約半數ハ、外國ニテ生レタル白人ナリトス。

諸外國ガ救貧事業ノ爲メニ盡ス所ノ大ナルヲ見ルベク、又之ニ多大ノ弊害ノ相伴フアリテ、却テ、貧民ヲシテ、慈善ニ忤レシムルノ傾向ヲ有スルヲ推知スルニ足ラン。救貧ニ對スル我ガ將來ノ制度ハ、深ク經世家ノ省慮スベキ所タリ。

第十章 裁判事件

(一) 民事

●(一) 民事 明治三十九年中ニ提起セラレタル民事事件數ハ、大審院上告

六百六十一件、控訴院上告五百三十八件、控訴院控訴二千六百十九件、地方裁判所控訴五千八百七十一件、地方裁判所第一審訴訟一萬七千七百九十件、區裁判所第一審訴訟十三萬二千八百八件、合計民事總件數十五萬九

千四百八十七件トス。其ノ中第一審訴訟ノ請求金額及ビ見積價格ノ合計ハ、約二千三百餘萬圓ニシテ一件平均凡百四十圓ナリ。

第百十八表

控訴院		民事裁判事件表		人口一萬ニ付件數
		地方裁判所	二區裁判所	
東	東京	一、七七五	七、五九二	九、三六七
	橫濱	四八〇	二、一九五	二、六七五
	千葉	三三八	二、二一七	二、五五五
	水戸	四六七	四、三二八	四、七九五
	宇都宮	三八七	二、九五九	三、三四六
	前橋	三〇〇	二、七五七	三、一四三
	靜岡	二七二	三、七〇八	四、〇一八
	甲府	一四〇	二、二五五	二、五二七
	長野	六四五	一、八〇〇	一、九四〇
	新潟	七二一	五、一一八	五、七六三
京	計	五、九二一	三九、五七五	四五、四九六
	東京	一、二九二	五、三八三	六、六七三
	大阪	二一七	一、一七八	一、三九五
	奈良	七六五	四、一五五	四、九二〇
	神戶	二二二	一、五〇五	一、七二七
	大津	一七〇	一、三七一	一、五四一
	和歌山	一三七	一、四三七	一、五七四
	徳島	二一五	一、四七六	一、六九一
	高知	二〇一	一、三八三	一、五八四
	高松	二〇一	一、三八三	一、五八四
計	一、九二一	一、九二一	一、九二一	

控訴院		民事裁判事件表		人口一萬ニ付件數	
		地方裁判所	二區裁判所		
大	京都	一、二九二	五、三八三	六、六七三	
	大阪	二一七	一、一七八	一、三九五	
	奈良	七六五	四、一五五	四、九二〇	
	神戶	二二二	一、五〇五	一、七二七	
	大津	一七〇	一、三七一	一、五四一	
	和歌山	一三七	一、四三七	一、五七四	
	徳島	二一五	一、四七六	一、六九一	
	高知	二〇一	一、三八三	一、五八四	
	高松	二〇一	一、三八三	一、五八四	
	計	一、九二一	一、九二一	一、九二一	
名	名古屋	六七六	三、〇八三	三、七五九	
	安濃津	二二六	一、八七二	二、〇九八	
	岐阜	二九二	二、五六〇	二、八五二	
	福井	二七六	一、七五九	二、〇三三	
	金山	二二七	一、六四二	一、八七九	
	富山	二九二	一、九三一	二、二二三	
	計	一、九二一	一、九二一	一、九二一	
	屋	廣島	四六三	四、〇〇六	四、四六九
		計	一、九二一	一、九二一	一、九二一

廣		島		長							崎		宮				
山	松	松	岡	島	計	長	佐	福	大	熊	鹿	宮	那	計	仙	福	山
口	江	山	山	取		崎	賀	岡	分	木	兒	崎	新		臺	島	形
三〇六	一七一	二〇八	三五六	一八九	一、六九三	四〇五	一一一	五三九	二七一	三〇八	二六九	一四三	一三	二、〇八七	三五五	二九七	三一三
二、二三九	二、二六八	二、二七八	二、七五	二、〇六〇	一五、六二六	二、六二九	一、三五七	三、七一一	三、七二一	三、〇八五	二、七四二	一、二二九	三〇五	一八、七七九	三、四一三	四、六九二	四、一四一
二、五四五	二、四三九	二、四八六	三、一三一	二、二四九	一七、三一九	三、〇三四	一、四七八	四、二五〇	三、九九二	三、三九三	三、〇一一	一、三七二	三三六	二〇、八六六	三、七六八	四、九八九	四、四五四
二五・二八	三三・六五	二四・二六	二六・七三	五二・一八	二九・六一	二九・四一	二二・五三	二六・七二	四七・一五	二八・三七	二四・八四	二六・六五	六・九八	二七・七一	四・四一	四・三三	四九・九五

城		函			館		合	
盛	秋	函	札	根	計	計	計	計
岡	田	館	幌	室				
二、三九九	三、一〇	一、四四	三、四五	三六	五二五	一七、七九〇	一、三二、〇〇八	三〇、二一
二、三九九	二、八三六	一、七七〇	三、〇三六	六二二	五、四二九	一九、二九四	一四九、七九八	五一・二四
二、六三八	三、一四六	一、九一四	三、三八一	六五九	五、九五四	二一、〇四〇	一四九、七九八	五一・二四
三、五〇八	三、六八七	三、〇一八	三、九一八			三九・九八		

備考 本表ハ、明治三十九年中ニ新ニ提起セラレタル第一審訴訟件數ノミヲ示ス。

民事訴訟件數ノ分布ヲ觀レバ、地方裁判所第一審訴訟ニ付テハ、東京地方裁判所ノ約一千八百件ヲ最多トシ、大阪地方裁判所ノ約一千三百件之ニ次ギ、神戸、新潟、名古屋、長野、京都、福岡ノ各地方裁判所ハ、各五百件以上ヲ以テ、更ニ之ニ次グ。又、最モ少キハ、那覇地方裁判所ノ三十一件

根室地方裁判所ノ三十六件ニシテ、其ノ他、二百件以下ナルヲ甲府和歌山松江高知佐賀宮崎函館ノ各地方裁判所トス。次ニ區裁判所第一審訴訟ニ就テハ、東京地方裁判所管内ノ七千六百件ヲ最多トシ、大阪地方裁判所管内ノ五千四百餘件、長野地方裁判所管内ノ五千百餘件之ニ次ギ、其ノ他、四千件以上ナルヲ水戸新潟神戸廣島福島山形ノ各地方裁判所管内トシ、最モ少キハ、那覇地方裁判所管内ノ三百五件、根室地方裁判所管内ノ六百餘件ニシテ、奈良德島高知高松佐賀宮崎各地方裁判所管内ハ、各一千五百件以下トス。

更ニ、地方裁判所及ビ區裁判所第一審訴訟件數ノ合計ヲ以テ、人口ニ對比スレバ、人口一萬ニ付、鳥取地方裁判所管内ノ五十二件餘ヲ最多トシ、水戸前橋長野大分仙臺福島山形ノ各地方裁判所管内ハ、何レモ、四十件以上ヲ以テ、之ニ次ギ、北海道ニハ、五十一件餘アリ。又最モ少キハ、那覇地方裁判所管内ノ約七件ニシテ、千葉静岡二地方裁判所管内ノ十九

件餘之ニ次ギ、其ノ他、二十件以下ノモノナシ。

(二) 刑事

此ノ他、選舉訴訟破産事件家資分散事件等アレドモ、畧シテ陳ベズ。

(二) 刑事。刑事訴訟ノ提起セラレタル件數ハ、明治三十九年中ニ於テ、

重罪二千七百餘件、輕罪凡五萬六千二百件、及ビ違警罪五十餘萬件アリ。此ノ他、諸規則違反事件、重輕罪違警罪ヲ合シテ、三萬五千餘件アリ。又、刑事上告件數ハ、大審院一千三百餘件、控訴院凡四百七十件トシ、控訴件數ハ、控訴院五千餘件、地方裁判所四千餘件トス。

罪狀ニ依リテ、刑事被告人ヲ區別スレバ、重罪ニ在リテハ、文書印章偽造罪八百八十人ヲ最多トシ、謀故殺罪凡六百人、放火罪五百餘人、強盜罪(四百九十餘人)、毆打創傷罪三百五十人、竊盜罪三百七十人、貨幣偽造罪二百餘人等、之ニ次ギ、輕罪ニ在リテハ、竊盜罪三萬六千人、最モ多ク、賭博罪(二萬四千六百人)、詐欺取財罪九千餘人、毆打創傷罪二千三百餘人、文書印章偽造罪二千一百餘人、贓物罪二千餘人、失火罪千二百餘人、官吏ノ職務

ヲ行フヲ妨害スル罪四百三十餘人附加刑ヲ免ルル罪三百餘人等之ニ次グ。違警罪ニ在リテハ浮浪罪交通妨害罪賣淫罪最モ多シ。之ヲ要スルニ犯罪ノ大部分ハ勞ナクシテ獲ントスル人類ノ慾情ニ基クモノナリ。

第百十九表

地方別刑事被告人表		明治三十九年		
控訴院 地方裁判所	重罪被告人 人口十萬ニ付	輕罪被告人 人口一萬ニ付	數	
			重罪被告人	輕罪被告人
東京	三三三	七,二〇二	二八,六六九	一一,五九九
橫濱	一〇八	二,二七六	二一,五九九	一〇,八八八
千葉	一四四	一,四二〇	一〇,八八八	一〇,〇〇六
水戸	九六	一,一九九	一〇,〇〇六	一〇,〇〇六
宇都宮	五三	一,三一八	一四,三三二	一四,三三二
前橋	九八	八二七	六,七二二	六,七二二
靜岡	七一	一,四五九	一六,二二二	一六,二二二
甲府	五八	九九六	七,六三三	七,六三三
東京計	一〇,六六九	五五,一	一〇,一六	一〇,一六

古名	計	大阪							計	新長 潟野
		高松	高知	徳島	和歌山	大津	神戸	奈良		
名古屋	七六	二五	七三	四五	三三	五二	一〇八	一一	一〇八	一〇六
安濃津	三九	二五	七三	四五	三三	五二	一〇八	一一	一〇八	六七
岐阜	三八	二五	七三	四五	三三	五二	一〇八	一一	一〇八	六七
福井	二三	二五	七三	四五	三三	五二	一〇八	一一	一〇八	六七
名古屋計	五八六	三,五八	一,一四三	六,四三	四,七六	七,四三	五,九一	三,八〇	六,七二	七,八四
安濃津計	六七七	三,五八	一,一四三	六,四三	四,七六	七,四三	五,九一	三,八〇	六,七二	三,八三
岐阜計	一四,〇七八	五九七	八六一	六〇二	七〇五	八五三	三,九五六	四,八一	四,〇一六	二,四一四
福井計	一六,二二六	五九七	八六一	六〇二	七〇五	八五三	三,九五六	四,八一	四,〇一六	九〇八
名古屋計	一,二〇七	九,三五	一,二三四	八,六一	一〇,一六	一一,一カ	二一,六六	八,七〇	二二,三〇	一七,八六
安濃津計	九,六六	九,三五	一,二三四	八,六一	一〇,一六	一一,一カ	二一,六六	八,七〇	二二,三〇	五,二〇
岐阜計	七,〇七	九,三五	一,二三四	八,六一	一〇,一六	一一,一カ	二一,六六	八,七〇	二二,三〇	一四,六三
福井計	九,二八	九,三五	一,二三四	八,六一	一〇,一六	一一,一カ	二一,六六	八,七〇	二二,三〇	一四,六三

屋		廣 島					長 崎								
計	富山	廣島	山口	松江	松山	岡山	島取	計	長崎	佐賀	福岡	大分	熊本	鹿兒島	宮崎
三・八	一一	二二五	九一	五二	二四	八三	九一	二九	五八	四二	一五二	五一	一〇〇	三八	三三
五・〇五	一・四四	三・八〇	六・一〇	五・一七	三・三一	八・一〇	七・七七	六・七一	五・六二	六・四〇	九・五五	六・〇二	八・三六	三・一四	六・四一
五二七	五一三	五、四二七	二、〇五六	一、二六三	五二七	一、三八〇	一、七二五	四九七	一、三八六	七・八二	二、〇一二	五九七	一、一六四	一、〇七九	六三五
七・〇〇	六・七〇	九・一六	一三・七八	一二・五五	七・二七	一三・四七	一四・七三	一一・一三	一三・四四	一一・九二	一二・六五	七・〇五	九・七三	八・九〇	一二・三四
一二・七三	一二・七三	七・四四八	七、四四八	七、四四八	七、四四八	七、四四八	七、四四八	七、四四八	七、四四八	七、四四八	七、四四八	七、四四八	七、四四八	七、四四八	七、四四八

重罪犯人ノ最多キハ秋田地方裁判所管内ノ十八人餘人口十萬ニ

那 霸		宮 城					函 館			樺 戸 監 獄		合 計
計	仙臺	福島	山形	盛岡	秋田	青森	計	函館	札幌	根室	計	計
三二	九二	一二一	七八	八〇	一五五	四一	五六七	二二三	七八	一六	一一七	三、五九一
六・六四	一〇・一一	一〇・二六	八・七五	一〇・六四	一八・一六	六・〇五	一〇・七七	一〇・〇七	一〇・〇七	一〇・〇七	一〇・〇七	七・四一
三〇〇	一・六一〇	一、七二一	一、〇六〇	七・五五	一、五九四	九七四	七、七二四	六五二	二、〇五七	四〇六	三、一一四	六六、三一〇
六・二三	一七・六九	一四・六〇	一一・八九	一〇・〇四	一八・六八	一四・三七	一四・六六	二六・八〇	二六・八〇	二六・八〇	二六・八〇	一三・六九

付)ニシテ、東京十三人弱、高知、千葉各十一人強、ノ地方裁判所管内之ニ次
グ。北海道ニハ十人強アリ。此ノ中秋田及ビ高知ニ於テハ、此ノ年、貨
幣偽造罪ノ被告人多數ヲ占ム。

輕罪犯人ノ最多數ナルハ、東京地方裁判所管内ノ二十九人弱、人口一
萬ニ付)ニシテ、北海道ノ二十七人弱之ニ次ギ、其ノ他、二十人以上ナルハ、
大阪横濱ノ二地方裁判所管内トス。其ノ罪狀ノ主タルモノハ、財産ニ
對スル罪ニシテ、風俗ヲ害スル罪之ニ次グ。

犯罪人ノ地方的分布ヲ觀ルニ、貨幣偽造、文書偽造等ノ犯罪アルトキ
ハ、普通、運累者多數ナルヲ以テ、一年ノ狀況ヲ以テシテハ、直チニ地方的
人情ヲトスルニ足ラズト雖モ、亦大體ヲ察スルニ足ランカ。

明治三十九年中、體刑ヲ執行セラレタル者、死刑十九人、徒刑四百九十
二人、懲役一千二百十六人、禁錮六萬五千二人、拘留四百八十人、合計六萬
七千二百餘人トス。此ノ他、臺灣ニハ、體刑ノ一種トシテ、等刑アリ。

盜難

變死

明治三十九年末、囚徒ノ現在數ハ、約四萬九千餘人アリ。此ノ内二千
五百餘人ハ、女ナリ。此ノ他、監獄ニハ、刑事被告人、懲治人、別房留置人、携
帶乳兒等ヲモ收容ス。是等ヲ合シテ、在監人ノ總數ハ、五萬四千人弱ト
ス。臺灣ニ於ケル囚徒ノ數ハ、二萬八千人ニシテ、大多數ハ、土人ナリ。
此ノ他、第一卷第四篇司法ニ關シテ、陳ベタル所ヲ看ルベシ。

第十一章 警察事故

明治三十九年中ノ盜難事件ハ、三十萬件ニシテ、人口千人ニ付六件強
トス。其ノ最モ多キハ、東京府ノ十七件弱トシ、大阪府ノ十三件強、北海
道ノ十二件強之ニ次グ。夏期ニ少クシテ、冬期ニ多シ。冬期ハ、下層社會ノ生業少クシ
テ、生活ニ困難ヲ來シ、又、夜間長クシテ、惡ヲ遂グルニ便ナレハナルベシ。
變死者ノ數、明治三十九年中ニ於テ、二萬五千五百人アリ。其ノ中、自

殺八千九百人ニシテ、人口一萬ニ付一人八分四厘ノ割合ナリ。自殺者ノ最モ多キハ、東京長野愛知新潟大阪兵庫ノ諸府縣トス。自殺ノ原因ハ、精神錯亂病苦貧困ノ三種、最モ多シ。其ノ方法、縊死水死最モ普通ニ行ハレ、春夏ノ交ニ於テ最モ多數ノ自殺者アリ。自殺者ノ年齢ハ、五十年以上ノ者、全數ノ五分ノ二強ヲ占ム。

●**棄兒**
明治三十九年中、棄兒ノ總數ハ三百五十餘人ニシテ、東京府最モ多ク、九十人アリ。

●**火災**
火災ハ、明治三十九年中ニ一萬五千五百回アリ。三萬七千戸、建坪七十四萬坪ヲ燒キ去レリ。時期ハ、十二月ヨリ翌年四月迄ノ間、即チ、冬期ニ於テ最モ多シ。火器ヲ用ルコト多キガ故ナリ。
臺灣ニ關スル記述ヲ省略ス。

日本帝國政治地理 第三卷 終

明治四十二年六月二十日印刷
明治四十二年六月二十三日發行

日本帝國政治地理第三卷附

定價金壹圓參拾錢

著者 山上萬次郎

東京市京橋區銀座壹丁目廿二番地

發行兼印刷者 大日本圖書株式會社

右代表者

專務取締役 宮川保全

東京市京橋區銀座壹丁目廿二番地

大日本圖書株式會社

大阪市東區北久太郎町四丁目十七番屋敷

大日本圖書株式會社支社

各府縣下特約販賣所

發賣所



東京地學協會編纂

樺太地誌

菊判美裝 全一冊

樺太の地たるや豊富なる炭田の埋藏せるあり無盡藏なる水産物儲乎たる森林の世界の耳目を衝動せるあり 數多異人種の居住せるあり 其他地文上人文上研究すべきこと甚だ多し然りと雖も領有日尙淺きが爲めに世人の知らんと欲して知る能はざるもの甚だ多し 本書は此の渴乏を際せんが爲めに東京地學協會の公にせられたるものにして其編纂は小林房太郎氏之に任じ 地勢氣候生物等につきては理學博士横山又太郎氏 地質礦物につきては理學博士神保小虎氏 沿革其他史的事項につきては理學士小川琢治氏 文學博士白鳥庫吉氏 人種につきては理學博士坪井正五郎氏 全部に亘りては理學士脇水鐵五郎氏等の校正を加へられたり 就中横山神保坪井三博士は同島に出張して研究せる所少からず 地學に志すの士は勿論苟くも同島の事情を審にせんとするものは唯一の良參考書なり

東京地學協會編纂

地學論叢

逐次刊行

- 第一輯 菊判全一冊 定價金七拾錢 遞送料八錢
日本政治地理一斑 理學士山上萬次郎
- 第二輯 菊判全一冊 定價金七拾錢 遞送料八錢
港の概観 文學士石橋五郎
- 第三輯 菊判全一冊 定價金七拾錢 遞送料八錢
水河の話 理學士山崎直方
邦の特色 理學士石川成章
南北の縦貫鐵道 理學士奈佐忠行
ギリシヤの國情 文學士村川堅固
化石の話 理學博士横山又太郎
- 第四輯 菊判全一冊 定價金六拾錢 遞送料八錢
地質學の實用 理學博士坪井正五郎
地と人 農學士志賀重昂
火成岩の現出狀態 理學士脇水鐵五郎

社會式株書圖本日大 所行發

露國大藏省編纂 滿洲通志

定價金貳圓八拾錢 郵稅金八錢

理學士石川成章著 地球發達史

定價金六拾五錢 郵稅金八錢

鳥居龍藏著 人類種學

定價金壹圓貳拾錢 郵稅金八錢

理學士石川成章著 礦物學

定價金壹圓參拾錢 郵稅金八錢

理學博士今村明恒著 地震學

定價金壹圓貳拾錢 郵稅金八錢

農學博士麻生慶次郎共著 土壤學

定價金壹圓貳拾錢 郵稅金八錢

理學士廣瀬暁芳著 實驗礦物學

定價金壹圓七拾錢 郵稅金八錢

理學士岡田武松著 氣象學

定價金壹圓貳拾錢 郵稅金八錢

理學士服部廣太郎著 植物地理學

定價金壹圓貳拾錢 郵稅金八錢

理學博士田村哲著 海洋學

定價金壹圓貳拾錢 郵稅金八錢

社會式株書圖本日大 所行發

工35-41

山上萬次郎著

京址

日本帝國政治地理

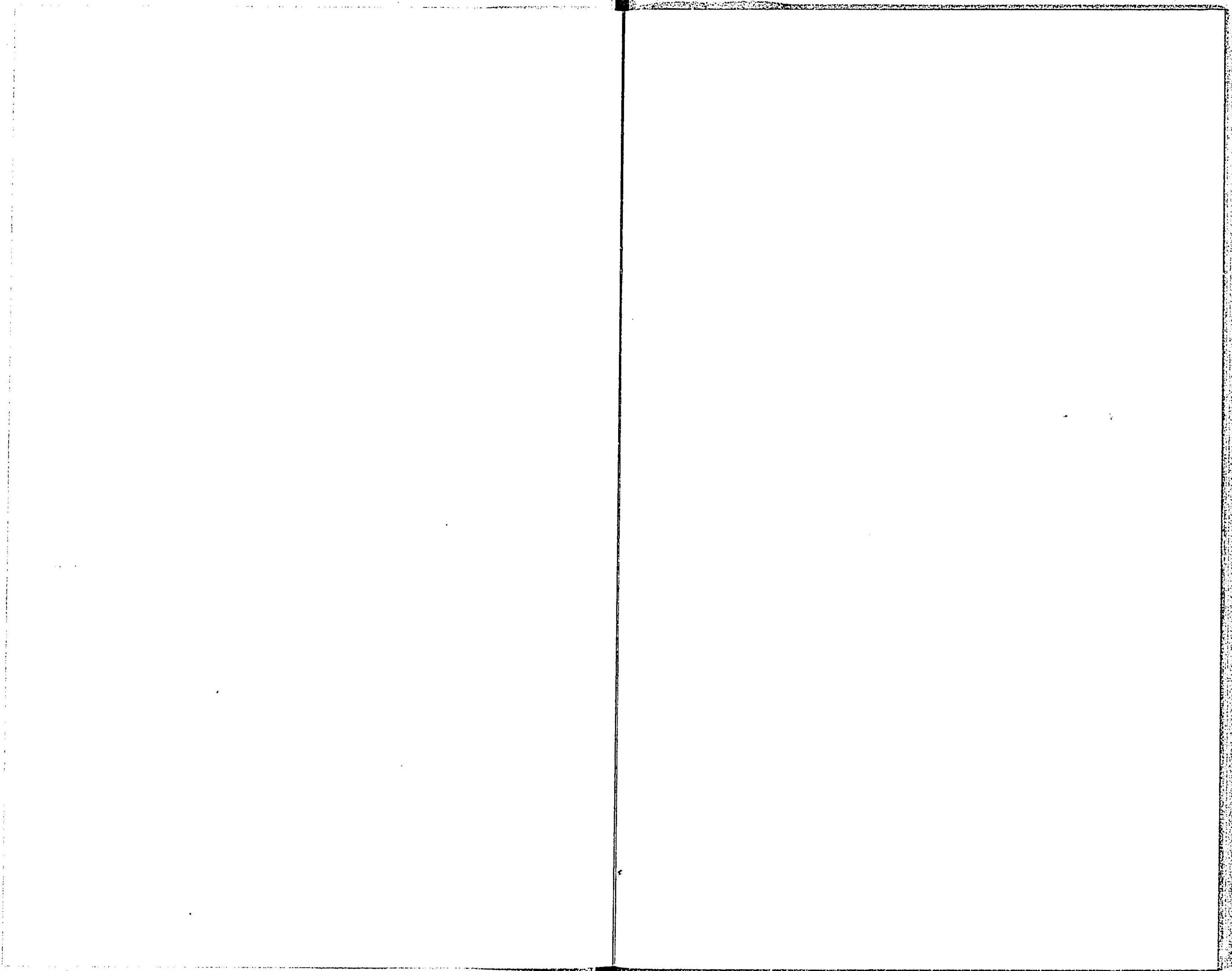
第一卷 (訂正) 定價金壹圓五拾錢
 第二卷 (訂正) 定價金壹圓八拾錢
 第三卷 (訂正) 定價金壹圓貳拾錢
 第一卷索引 定價金貳拾錢
 第二卷索引 定價金貳拾錢
 第三卷索引 定價金貳拾錢

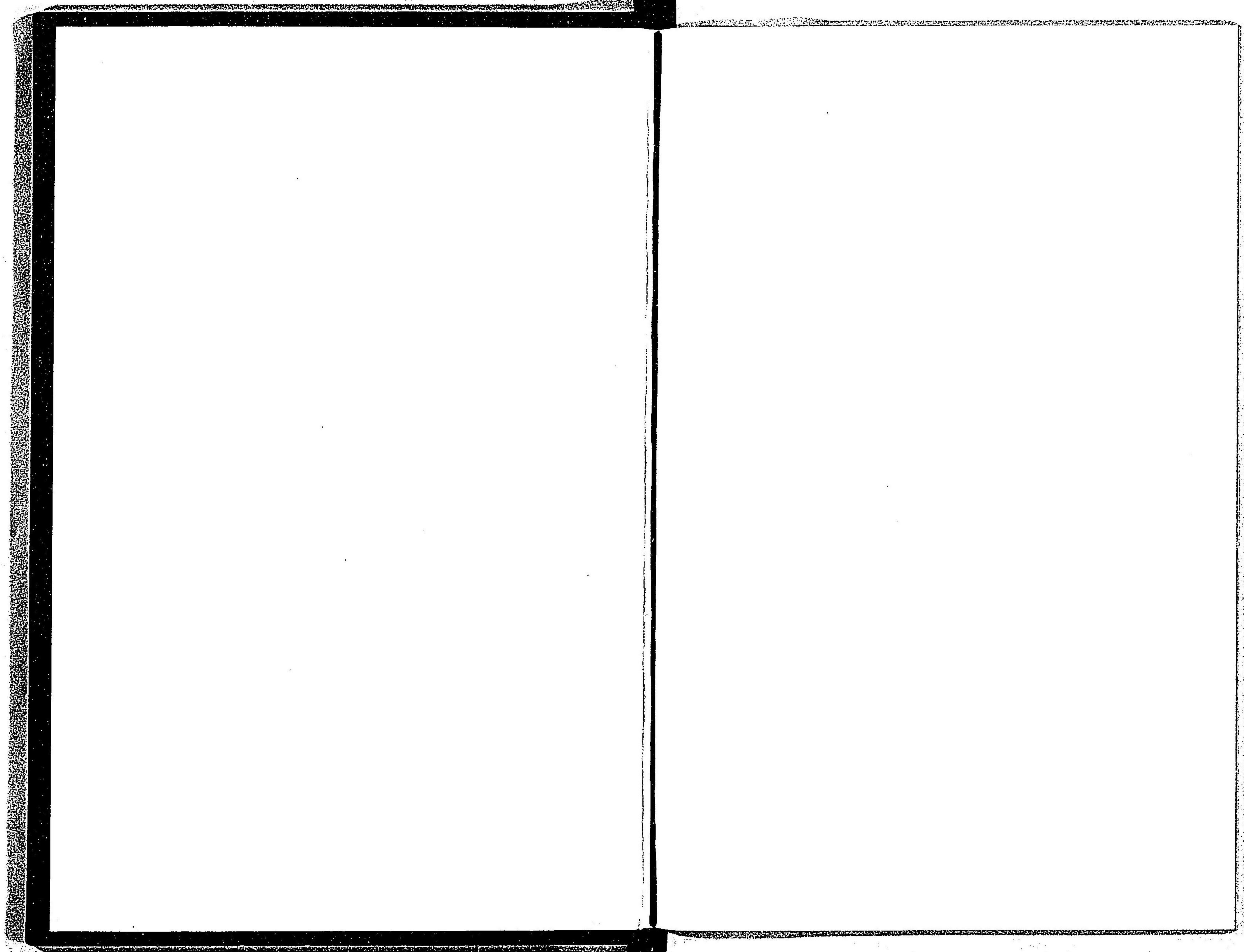
次 目

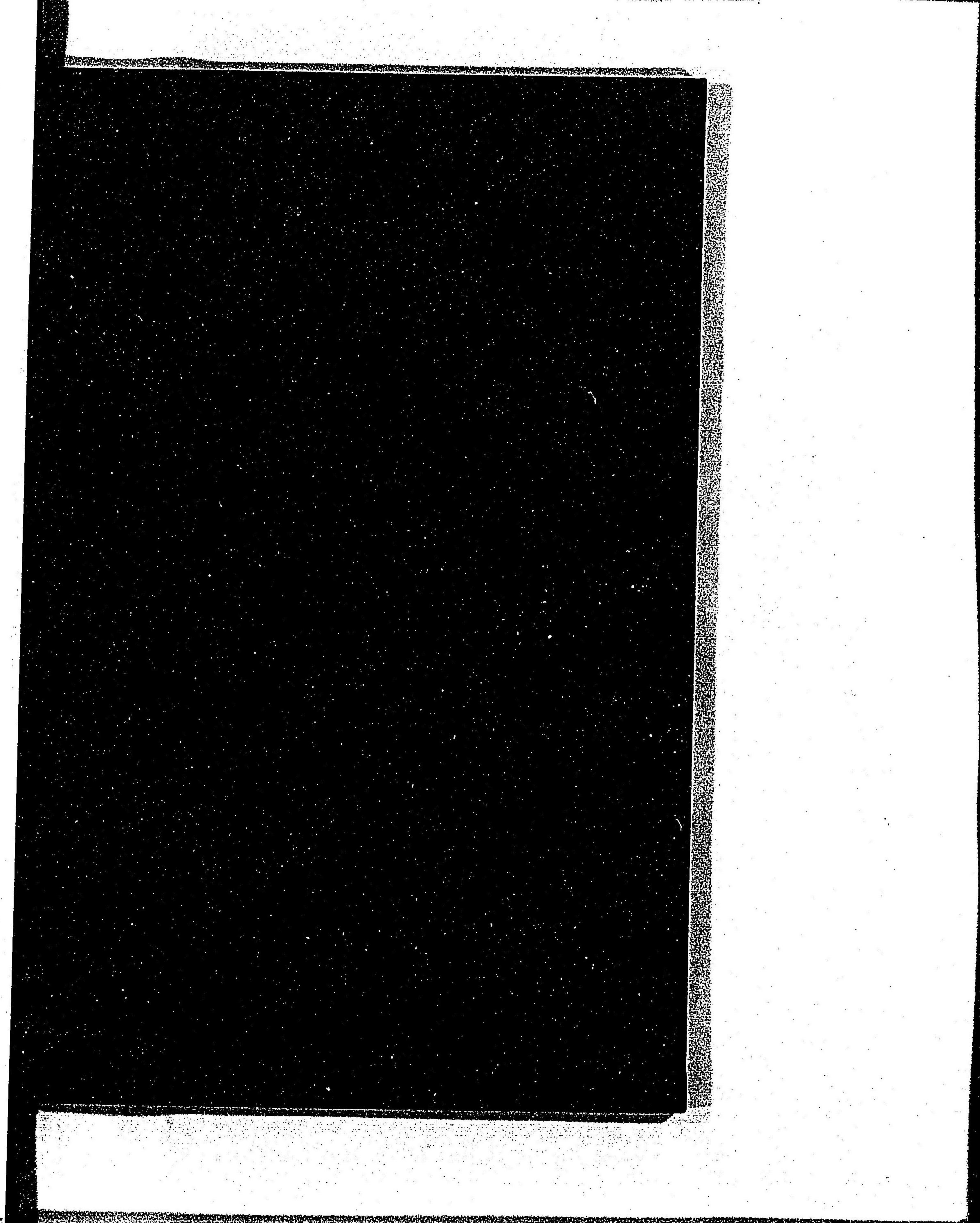
第一卷 ●緒論 ●第一篇、版圖(領土) ●第二篇、政治(國家の組織、天) ●第三篇、立法 ●第四篇、司法 ●第五篇、行政(中央行政、地方行政、官吏に關する政治體) ●第六篇、外交(外交の沿革、條約) ●第七篇、兵備(帝國の諸機關、官吏に關する政治體) ●第八篇、財政(歲出入、租稅、官費、公債、貨幣、幣制) ●第九篇、住民(種族、族制、榮典、人口、教育、敬神宗教、衛生、救恤、裁判事件、警察)

第二卷 ●第一篇、紛糾錯綜變轉推移窮るところを知らざる人類生活の事實を蒐め之が經路を尋ね其真相を捉へて一見掌を指すが如くならしむるは政治地理の任務なり著者其該博なる學識と深刻なる批評眼とによりて帝國人事界の現象を尋究整調し以て帝國現時の國勢を明示したるもの即本書なり苟くも帝國現時の國勢を知らんとするもの其官吏たると實業家たると學者たると教育者たると議員たると新聞記者たるとを問はず又内國人たると外國人たるに論なく本書を繙くにあらずんば恐らくは思はざるの謬見に陥るべし

發行所 大日本圖書株式會社







40
168

M

